

霞ヶ浦北浦の水産

令和4年10月

茨城県

目 次

トピックス

① 養殖コイを使ったコロツケ&メンチカツ開発！	I
② 北浦のワカサギ不漁要因について	II
1. 霞ヶ浦北浦の概況	1
2. 漁業及び養殖生産	3
3. 水産資源の増殖及び環境保全対策	8
4. 資源管理型漁業の推進	10
5. 漁業制度	13
6. 水産物流通加工	16
7. 漁船と漁港・船溜	24
8. 水産業団体及び組合員	25
9. 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要	28
10. 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体	30
11. 資料（霞ヶ浦北浦海区の漁場図）	33
12. 資料（霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移）	35

トピックス① 養殖コイを使ったコロッケ&メンチカツ開発！

◆霞ヶ浦北浦の養殖コイ

霞ヶ浦北浦は全国1位の生産量を誇るコイの養殖産地です(令和2年漁業・養殖業生産統計(農林水産省)より)。しかし、平成15年のコイヘルペスウイルス病発生や平成23年に起きた福島第一原子力発電所事故による風評被害の他、食文化の変化も合わさって、コイの需要は年々減少しています。そこで、霞ヶ浦漁業協同組合の養殖業者が集う霞ヶ浦養殖加工部では、養殖コイの消費拡大を図るため、加工品の開発に取り組んできました。

◆凍結コイフィレの開発

先駆けとなった商品は、平成28年から開発を始めた凍結コイフィレです。捌きたてのコイを真空凍結した商品で、鮮度の良いコイをより便利に使えるようにしたものです。飲食店向けに生産・販売を行うとともに、令和2年度からは一般消費者向けにECサイトでも販売しています。



凍結コイフィレ

◆コイコロッケ、メンチカツの開発

令和3年には、コイのミンチを生産し、県内の惣菜製造業者の協力を得て、試行錯誤の末、コイのナゲットを開発しました。開発したナゲットは国の補助事業を活用し、同年6月から霞ヶ浦北浦周辺5市町村の学校給食として約24,000人に提供されました。

さらに同年10月からは、かすみがうら市の補助事業を活用し、コイと他の食材を組み合わせた5種の製品(サツマイモコロッケ、ジャガイモコロッケ、レンコンメンチ、チーズメンチ、レンコンフリッター)を開発することができました。同市の栄養士の方々によって、サツマイモコロッケとレンコンメンチが市内小中学校の給食に選ばれ、令和4年2月から3月の間に約6,500食が提供されました。小学5年生を対象にしたアンケートでは、児童の93%に「おいしい」と評価してもらえました。さらに、これらの新商品をPRするリーフレットの作成・配布も行い、理解増進を図りました。



養殖コイを使った
コロッケ&メンチカツ

◆令和3年度茨城県青年・女性漁業者交流大会で発表、全国大会へ

令和3年12月23日に開催された「令和3年度茨城県青年・女性漁業者交流大会」では、活動成果をまとめて「霞ヶ浦のコイをもっと身近に！」のタイトルで発表を行いました。その結果、令和5年3月開催予定の令和4年度全国青年・女性漁業者交流大会に本県代表として出場することになりました。

◆霞ヶ浦のコイをもっと身近に！

霞ヶ浦養殖加工部では、より多くの人に霞ヶ浦のコイをもっと身近に感じてもらうため、今後も新たな商品開発、販売、PRに挑戦し、養殖コイの消費拡大をめざしていきます。

トピックス② 北浦のワカサギ不漁要因について

◆背景

茨城県のワカサギの主な産地は霞ヶ浦および北浦であり、両湖のワカサギ漁獲量は茨城県全体（令和2年は73トン）の9割以上を占めます。近年は両湖とも減少傾向にあり、特に北浦では1トン（令和元年、令和2年）という顕著な不漁が2年続き、令和3年も同様の不漁となったことから、要因の究明が求められています。そこで、北浦におけるワカサギの漁獲量と環境要因との関係について検討しました。その結果、夏季の高水温による影響とそれに伴う親魚現存量の減少が不漁の主要因として推察されました。



図1 ワカサギ

◆研究方法

北浦のワカサギ漁の操業データ（漁獲量、操業時間）から、月別の1隻1時間当たりの漁獲量（CPUE）を算出し、ワカサギ分布密度の変動状況を整理するとともに、湖上における湖沼観測や（独）水資源機構のデータ等を用いて、北浦の湖水の環境項目を整理しました。

◆研究結果

（1）ワカサギ分布密度の変動状況

北浦におけるワカサギのCPUEは、例年7月から8月にかけて減少する傾向ですが、令和元年、令和2年は特にその減少割合が大きくなりました（図2）。

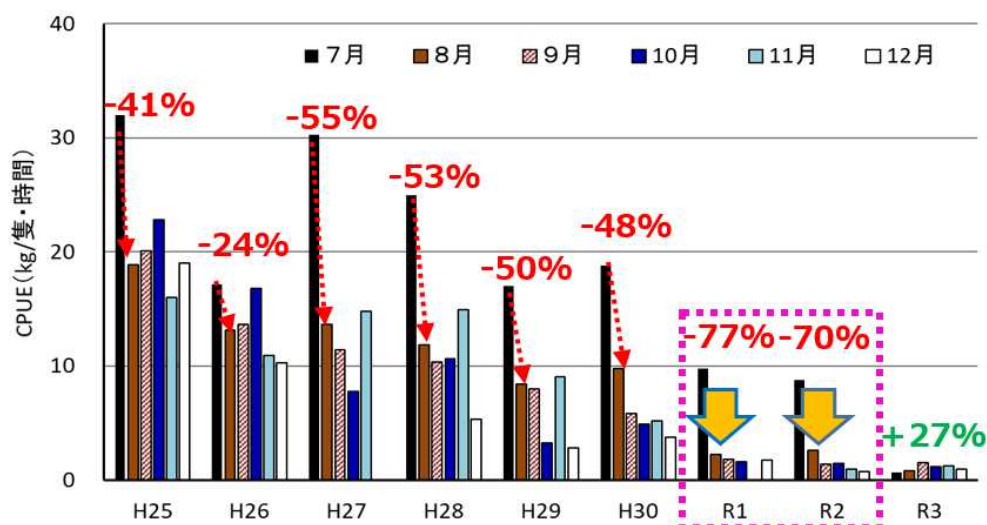


図2 北浦のワカサギの月別 CPUE

(2) 夏季の高水温による影響

北浦の表層水温は、令和元年、令和2年ともに1日の平均水温が30℃超の高水温期間が例年より長いことが確認されました(図3)。

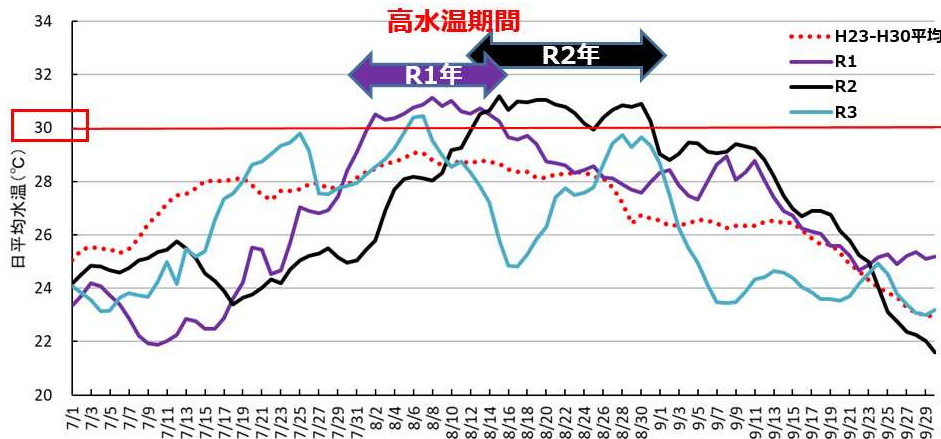


図3 北浦の水温の推移(水資源機構の釜谷沖観測所データ)

ワカサギは、水温 26.0℃以上で成長が停滞し、29.1℃で半数が死に至るという飼育試験結果があることから、令和元年ならびに令和2年夏季の高水温がワカサギ魚体に大きな負荷を与えたと推測されます。また、ワカサギの前年12月のCPUE(親)と当年7月のCPUE(子)の相関に正の関係が認められ、前年12月の親の量が少ないと、当年7月の子の量も少なくなることが分かりました(図4)。

以上の結果、夏季の高水温とそれに伴う親魚現存量の減少がワカサギ不漁の主要因と推察されました。

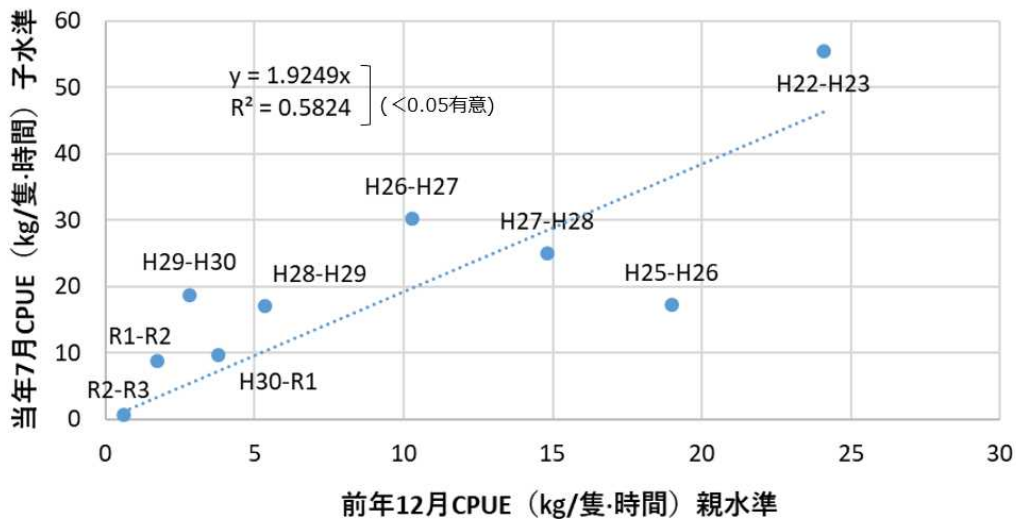


図4 北浦のワカサギの親子関係

◆今後の取り組み

北浦のワカサギの減少は、夏季の高水温が要因のひとつとみていますが、近年、シラウオ、テナガエビも極端に減少しています。今回の研究成果だけでは説明が難しい点もありますので、これらの魚種の減少要因の解明についても取り組んでまいります。

1 霞ヶ浦北浦の概況

霞ヶ浦北浦は外浪逆浦などを含めると 220 km²の面積を有する全国第 2 位の湖であり、平均水深は 4 m と「広くて浅い」といった特性を持つ（表 1）。

表 1 霞ヶ浦北浦の諸元

成因	海跡湖
湖沼類型	富栄養湖
水面標高	Y.P.+1.1m（夏期）、+1.3m（冬期） ※Y.P.=T.P.-0.840m
全流域面積	2,156.7 km ² （茨城県全体の約 35%）
湖面積	220 km ² （霞ヶ浦 172 km ² 北浦 36 km ² その他 12 km ² ）
湖岸線距離	249.8 km（霞ヶ浦 120.5 km 北浦 74.5 km その他 54.8 km）
水深	平均：4 m、最大：7 m
貯水容量	約 8.7 億 m ³ （Y.P.+1.1m）
沿岸市町村	13 市町村（茨城県 10 市 1 町 1 村、千葉県 1 市）

（国土交通省霞ヶ浦河川事務所資料）

ワカサギ、シラウオ、ハゼ類、エビ類等の水産資源に恵まれていることから、古くから多種多様な漁業が盛んで、また網いけすを用いた小割式養殖業、淡水真珠養殖業も行われており、豊富な漁獲物から佃煮や煮干しなどを製造する水産加工業も発展しており、国内有数の水産業が盛んな地域である。一方、首都圏に近い手軽なレジャースポットとして、ワカサギやコイ、フナ、ブラックバスなどを対象とした遊漁（釣り）を始め、ヨット、ウインドサーフィン、水上スキー等の湖上レジャーも盛んである。

令和 2 年の霞ヶ浦北浦の漁獲量は 670 トン、うちワカサギは 73 トン（約 11%）、シラウオは 187 トン（約 28%）、エビ類は 87 トン（約 13%）と、3 魚種で全体の約 5 割を占める主要な漁獲物である。茨城県はワカサギが全国 4 位、シラウオが全国 2 位、エビ類が全国 1 位の漁獲量となっているが、そのほとんどは霞ヶ浦北浦産である（図 1、表 2）。

また、コイ養殖業も盛んであり、茨城県は全国 1 位の収穫量で、そのほとんどは霞ヶ浦北浦産である。

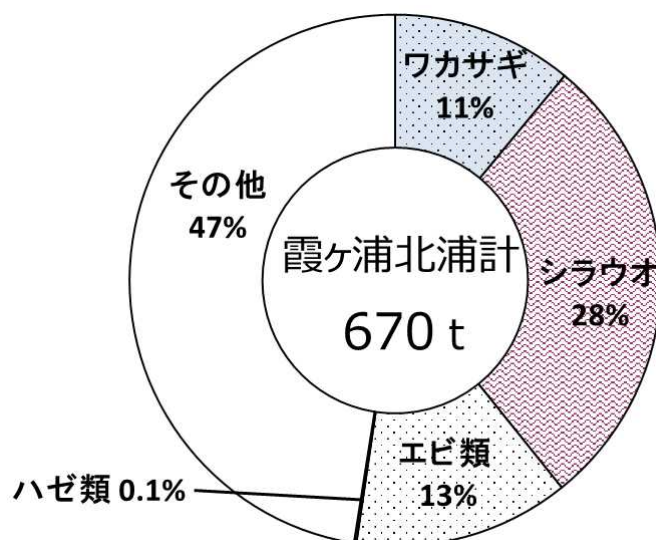


図 1 令和 2 年漁獲量の魚種別割合（霞ヶ浦北浦計）

（漁業・養殖業生産統計(農林水産省)）

表2 主要魚種別漁獲量・収穫量（内水面）・都道府県別順位（令和2年） （単位：トン）

	ワカサギ	シラウオ	エビ類	コイ養殖
全国	935	507	198	2,247
1位	青森 365	青森 287	茨城 89 (うち霞北 87)	茨城 812 (※霞北分は非公表)
2位	北海道 210	茨城 188 (うち霞北 187)	滋賀 57	福島 744
3位	秋田 207	秋田 17	青森 15	長野 104
4位	茨城 73 (うち霞北 73)	北海道 9	千葉 12	群馬 93
5位	滋賀 58	島根 6	北海道 8	山形 42

（漁業・養殖業生産統計(農林水産省)）

表3 近年の魚種別漁獲量 （単位：トン）

地区	魚種	H28	H29	H30	R1	R2
霞 ヶ 浦	ワカサギ	159	83	92	118	72
	シラウオ	137	187	160	154	179
	コイ	0	-	0	-	0
	フナ	0	0	0	0	0
	ウナギ	3	5	2	1	0
	ハゼ類(ゴロ)	8	11	6	2	1
	エビ類	233	214	244	133	87
北 浦	ワカサギ	18	9	6	1	1
	シラウオ	22	24	16	7	8
	コイ	-	3	2	2	2
	フナ	2	2	3	3	3
	ウナギ	0	0	0	0	0
	ハゼ類(ゴロ)	1	4	4	0	-
	エビ類	8	7	9	0	0

（漁業・養殖業生産統計(農林水産省)）

表4 近年の漁業種類別漁獲量 （単位：トン）

地区	漁法	H28	H29	H30	R1	R2
霞 ヶ 浦	底びき網	781	783	756	666	597
	掛網	0	0	0	0	0
	張網	4	5	6	16	26
	その他	3	0	0	1	1
	合計	788	788	763	683	623
北 浦	底びき網	92	95	83	44	47
	掛網	1	2	2	2	2
	張網	1	1	1	1	25
	その他	0	0	0	0	0
	合計	94	98	86	46	47

（漁業・養殖業生産統計(農林水産省)）

2 漁業及び養殖生産

(1) 漁業生産量の推移

霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移を図2（魚種別生産量）及び図4（漁業種類別生産量）に、各年代ごとの生産量の割合を図3（魚種別生産量）及び図5（漁業種類別生産量）に示した。

①昭和41年以前【代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）】

ワカサギ及びシラウオが主な漁獲対象で、風力を用いた帆びき網漁で漁獲され、ワカサギが総生産量の24%を占める主要な魚種であった。常陸川水門は昭和39年に運用が開始されたが、完全に閉鎖しておらず、まだ海水が遡上していたため、霞ヶ浦北浦の下流域ではシジミが漁獲され、総生産量の18%を占めていた。また、イサザアミ（当時はコマセと呼ばれていた）や淡貝（カラスガイ等）、タナゴ等の生産量が多かった。

淡貝は食用のほかボタンの材料としても利用されていた。シラスウナギの遡上が可能であったためウナギの生産量も多く、全生産額の10%を占め、漁業者の重要な収入源となっていた。

漁法では帆びき網のほか、大徳網などの伝統漁業、笹浸や延縄も盛んであった。

②昭和42年～昭和48年【代表年：昭和48年（生産量の増大期）】

富栄養化が進行し、エビ類、ハゼ類の生産量が増加したことにより、全体の生産量は10,000トンを超えるようになった。一方、ワカサギ、シラウオの生産量及び総生産量に占める割合は減少し、ワカサギ、シラウオを中心とした湖からエビ類、ハゼ類を中心とする湖へと変化した。シジミは1,000トンを超える漁獲があった。

風頼みの帆びき網から、より効率的な操業が可能な動力船を使用するわかさぎ・しらうおひき網（トロール）への転換が進み、現在も主要な漁法となっている。

③昭和49年～平成9年【代表年：昭和53年（生産量の極大期から減少期）】

昭和53年に総生産量はピークに達し、17,487トンを記録し、エビ類及びハゼ類の生産量は更に伸び、イサザアミを加えた3種が総生産量の64%を占めた。この3種を漁獲対象とするいさざ・ごろひき網漁業の生産量が大きく伸びた。

昭和53年以降、エビ類・ハゼ類が減少に転じ、生産量は漸減したが引き続きエビ類・ハゼ類中心の漁獲があり、平成9年まで、年間総生産量は常に4,000トンを超えていた。かつて主要な漁獲対象であったシジミは昭和53年までは、1,000トン以上の漁獲があったが、淡水化が進み、その後急減し平成2年には水揚げがなくなった。

生産量減少の原因は、①生息環境の悪化（生産容量の低下、植物プランクトン相の変化）、②有用種の繁殖育成場である水生植物帯の減少、③食文化の変化（食の欧米化、魚離れ、コイ、フナの需要低下など）、④外来魚の繁殖などの複合的な要因によるものと考えられた。

④平成 10 年～平成 22 年【代表年：平成 12 年（ワカサギの漁獲が過去最低）】

平成 10 年以降はエビ類、ハゼ類の減少に歯止めがかからず、総生産量は 3,000 トンを下回り、低迷した。ワカサギ資源は低水準(平成 12 年 霞ヶ浦北浦計 51 トン)になり、エビ類、ハゼ類の減少も顕著であった。生産量が減少する一方で、販売の対象とならない魚（ボラ、ニゴイ及びアメリカナマズなど）の入網割合が高くなっていったことが漁業の衰退の一因となった。

平成 20 年以降は、引き続き低調ではあるものの、ワカサギやシラウオなど漁獲対象種の生産量が回復する傾向が認められている。

⑤平成 23 年～令和 2 年【東日本大震災による一時的な需要低迷から回復基調へ】

前述の生産量の低迷が続いている中、東日本大震災による被災と、福島第一原子力発電所事故による風評被害や出荷規制により需要が一時的に落ち込み、生産量が著しく減少した。平成 24 年の生産量は、前年(1,874 トン)を大幅に下回る 646 トンとなった。平成 25 年には生産量が増加に転じたものの、平成 26 年以降は横ばいで推移し、令和 2 年の生産量は 670 トンとなっている。

需要はワカサギ、シラウオ、エビ類の 3 魚種に偏重する傾向が顕著で、近年では水揚げのほとんどが動力漁船を使用した底びき網（主にトロール）に集中している。

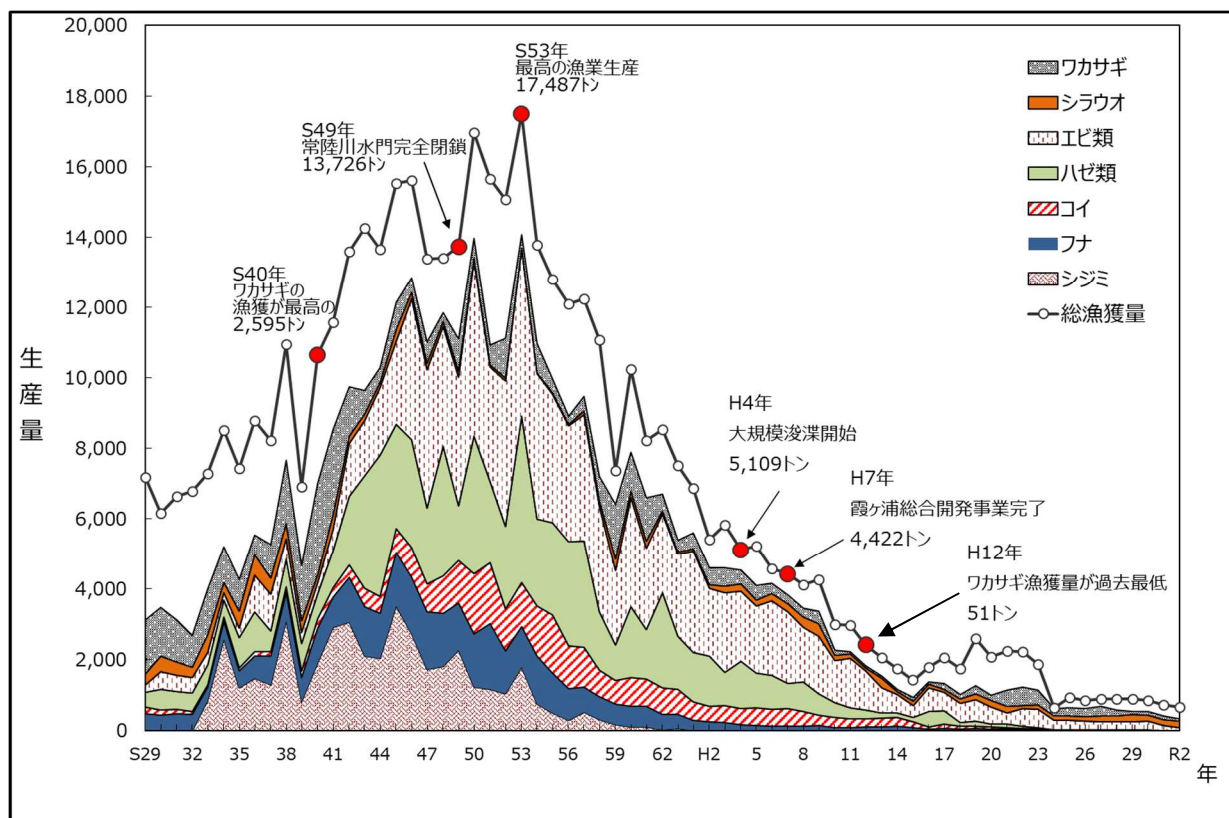


図2 霞ヶ浦北浦における魚種別生産量

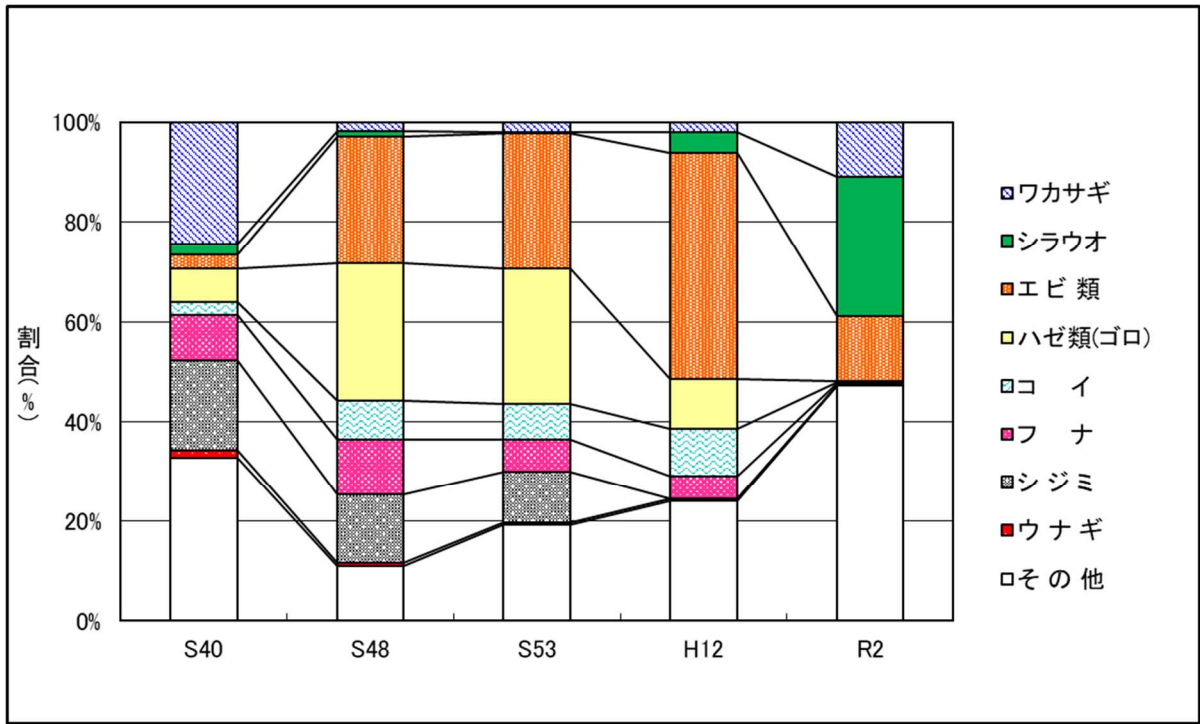
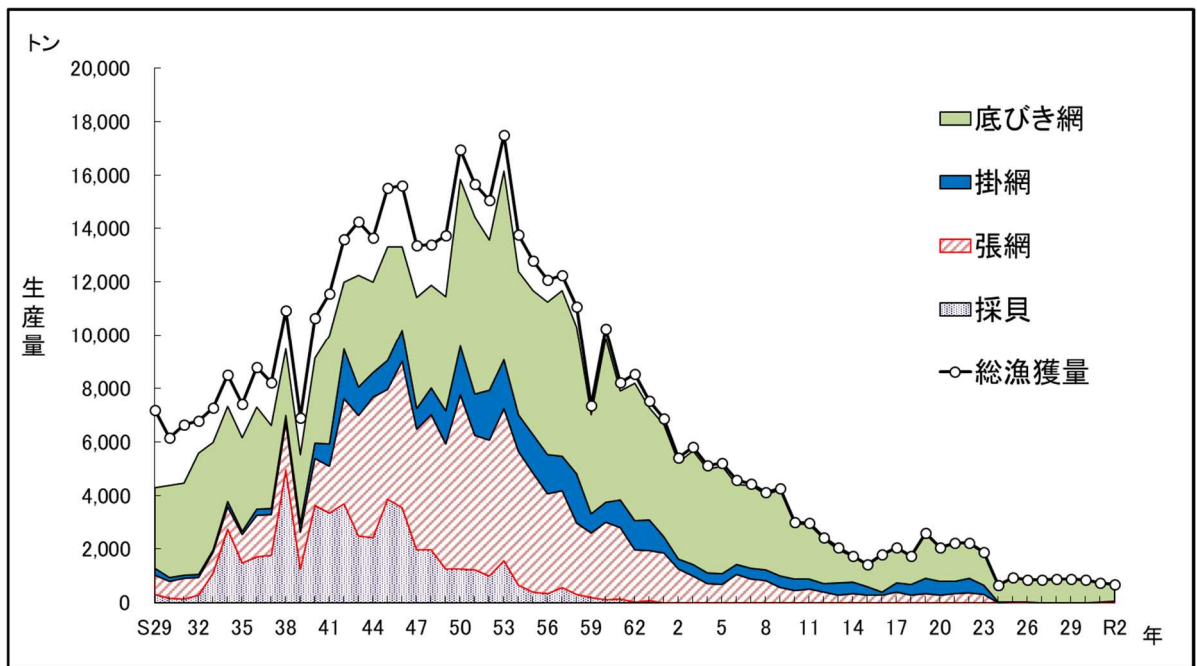


図3 各年代の魚種別生産量の割合



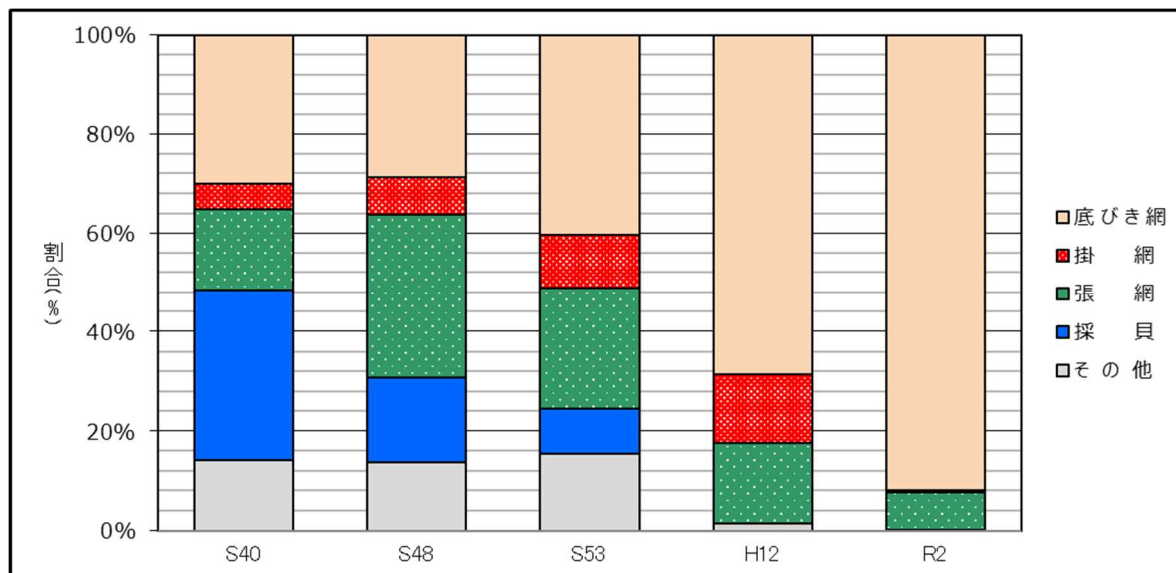


図5 各年代の漁業種類別生産量の割合

(2) 養殖業の概況

本地域では、小割式養殖業（網いけす養殖）、淡水真珠養殖業（イケチョウガイ）及びコイ等の種苗生産を主目的とする池中養殖業が行われている。

【網いけす養殖業】

第1種区画漁業権（小割式養殖業）に基づく網いけす養殖業は、地域漁業振興計画の一環として昭和39年に導入され、漁場の高い生産性と養殖技術の発展により急速に生産を伸ばした。

コイの収穫量は、昭和50年には全国一となり、昭和57年には8,641トンと生産のピークを迎えた。その後、需要の低迷により徐々に収穫量が減少したものの、平成14年までは収穫量全国一を維持し続けた（図6）。

しかし、平成15年10月のコイヘルペスウイルス（KHV）病の発生により、生産を休止した。

平成21年4月には、KHV病に強いコイの生産技術の開発やまん延させない安全な流通方法が確立されたことから、約5年ぶりにコイ養殖が再開された。令和2年の茨城県の養殖コイ収穫量は812トン（霞ヶ浦北浦分は非公表）で全国1位の収穫量であり、そのほとんどは霞ヶ浦北浦産である（表5）。

また、霞ヶ浦北浦では、養殖業者の一部で小規模ながらアメリカナマズやフナ等の生産も行われている。

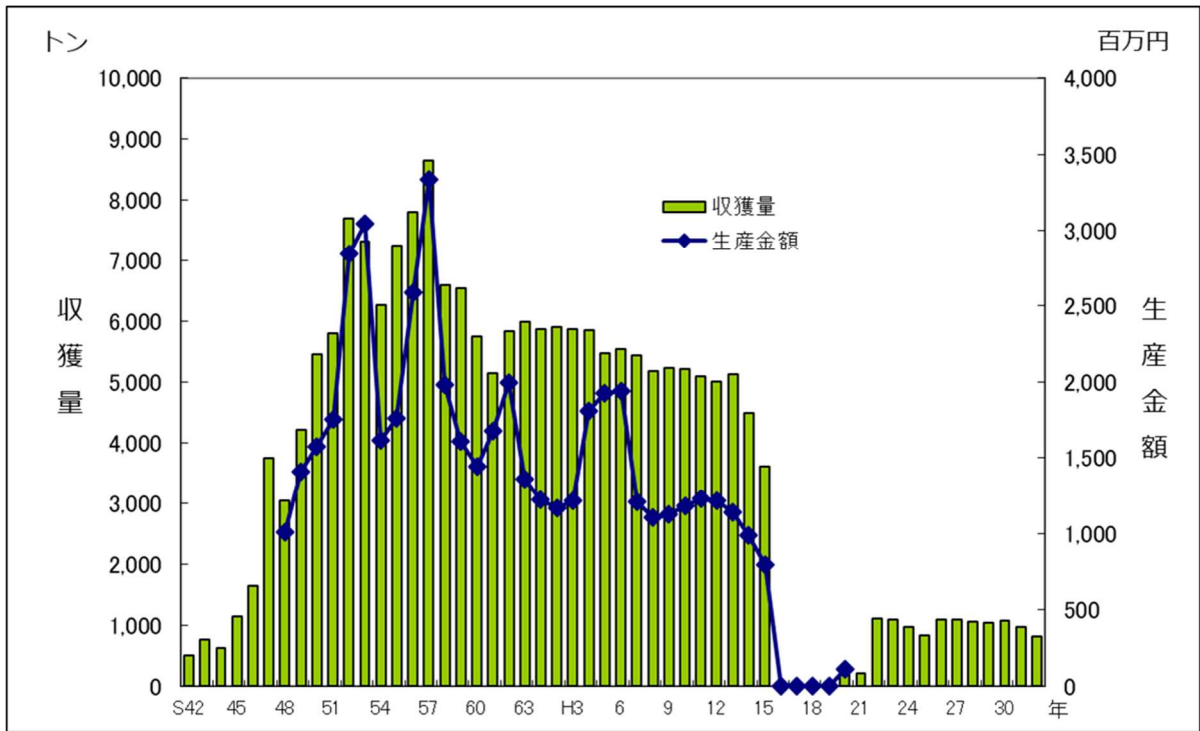


図6 霞ヶ浦北浦における養殖コイの収穫量と生産金額の推移

※生産金額：H21年度から調査対象としていない。

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

表5 近年の養殖コイ等の収穫量

(単位：トン)

項目			H28	H29	H30	R1	R2
収穫量	コイ	茨城	1,057	1,040	1,063	970	812
		霞ヶ浦	x	984	x	x	x
		北浦	x	x	x	x	x
	その他	x	152	154	127	x	

※ x は非公表

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

3 水産資源の増殖及び環境保全対策

県では、漁業の持続的発展を図るため水産資源の増殖及び漁場環境保全対策を実施している。また、湖岸周辺の小学生等を対象に行われる「水産教室」を支援している。

(1) 水産資源の増殖

霞ヶ浦北浦では、ワカサギの人工ふ化放流やウナギの種苗放流が行われている。県では、水産動植物の採捕を禁じる保護水面（4ヶ所）及び禁止区域（9ヶ所）を設定し、水産資源の増殖に努めている（漁場図（巻末）を参照）。

霞ヶ浦北浦の水産業のシンボルであり、資源の維持増大が強く求められているワカサギについては、ワカサギの人工ふ化放流が霞ヶ浦漁協、麻生漁協及びきたうら広域漁協によって行われている（表6）。

また、ウナギの種苗放流については平成26年度からは国等の交付金を活用し、2つの活動組織（かすみがうら市地区、大和地区）が実施している。

表6 霞ヶ浦北浦における放流実績

魚種		年度	H29	H30	R1	R2	R3
ワカサギ卵 (百万粒)	霞ヶ浦	316	232	215	117	119	
	北浦	131	96	59	66	73	
	計	447	328	263	183	192	
ウナギ (kg)	霞ヶ浦	410	316	272	285	490	
	北浦	960	777	667	695.6	641.3	
	計	1,370	1,093	939	980.6	1,131.3	

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

(2) 漁場環境保全対策

水質汚濁やヨシなど水生植物の減少に対し、県では魚類やエビ類の繁殖育成の場となる水生植物帯の造成や保全などの事業を実施している（表7）。

表7 環境保全対策関連事業

事業名	事業主体	事業内容	実績等
漁場環境保全創造事業	茨城県	水産動植物の繁殖保護の場であり、水質浄化にも寄与する水生植物帯の造成	水生植物帯の造成地 H24：行方市八木蒔地先、 行方市天掛地先 H25：行方市三和地先 H26：行方市天掛地先 H27：鉾田市阿玉地先 R1：行方市山田地先
環境・生態系保全活動支援事業	地域協議会 活動組織	水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしているヨシ帯の保全活動の支援	保全活動実施実績 H26：霞ヶ浦 4.61ha、北浦 3.62ha H27：霞ヶ浦 4.61ha、北浦 3.89ha H28：霞ヶ浦 4.93ha、北浦 8.09ha H29：霞ヶ浦 3.95ha、北浦 8.19ha H30：霞ヶ浦 4.19ha、北浦 7.37ha R1：霞ヶ浦 3.95ha、北浦 9.57ha R2：霞ヶ浦 2.48ha、北浦 9.38ha R3：北浦 6.96ha

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

(3) 水産教室

霞ヶ浦北浦周辺の地元の小学生等を対象に、地域産業である漁業や水産加工業を知ってもらうとともに、漁場環境や水産資源の保護への理解促進を図る水産教室が実施されている。

近年では、自然環境と生態系の保全、漁業文化の伝承など水産業のもつ多面的機能に対する意識の高まりや、漁獲物の調理・食体験を通じた食育や地元産物の再発見などの要望の増加を背景に、地域交流や総合学習の一環として、漁協、市町村、大学などの主催で実施される機会が増加している。県はこれらの取組みに対して、講師を派遣して支援している（表8）。

表8 令和3年度水産教室の実績

実施日	場所	主催	参加者	協力機関	生徒数	内容
R3.9.8	WEB 開催	筑波大学	筑波大学生物資源学類	霞ヶ浦北浦水産事務所	25	水産に関する講義
R3.9.27	行方市	行方市漁業振興協議会	行方市立麻生小学校	行方市農林水産課、独立行政法人水資源機構、霞ヶ浦北浦水産事務所	67	水産に関する講義、環境・生態系保全に関する講義
R3.10.27			行方市立麻生東小学校		49	
			行方市立北浦小学校		50	
合計(延べ人数)					191	

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)



水産教室の様子

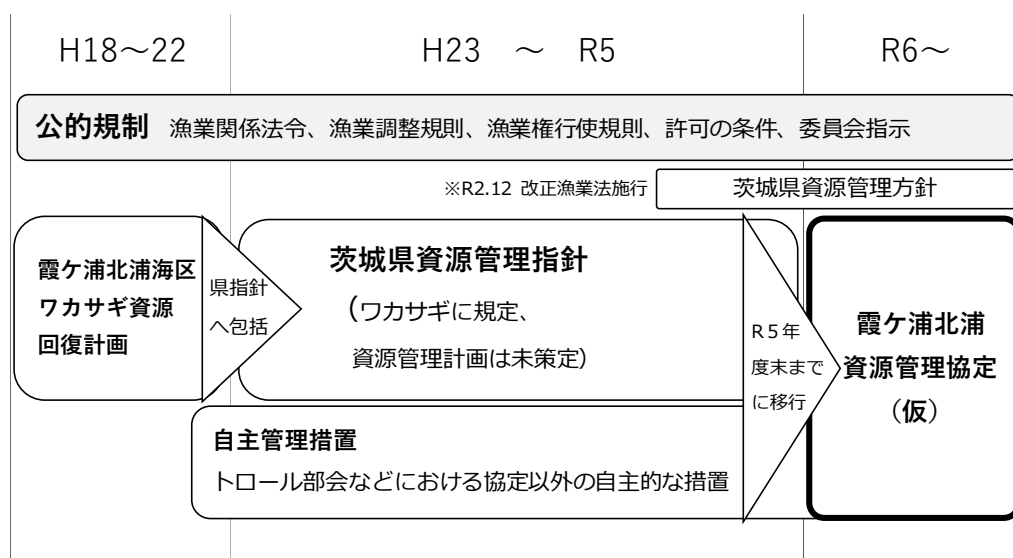
4 資源管理型漁業の推進

霞ヶ浦北浦では、ワカサギ資源の維持・回復のため平成 18 年度から平成 22 年度の 5 年間「霞ヶ浦北浦海区ワカサギ資源回復計画」に基づき、翌年の再生産に必要なワカサギ親魚を確保するため漁獲努力量をコントロールするなどの取組が行われ、現在の霞ヶ浦北浦における資源管理の基礎となった。同計画は、平成 23 年 3 月策定の「茨城県資源管理指針」に引き継がれ、現在に至るまでその取組は継続されている。

また、平成 22 年には変動する資源の状況に合わせ柔軟な漁業管理を行う漁業者組織であるトロール部会が設立され、テナガエビなどワカサギ以外の魚種についても資源管理の取組が拡大された。

さらに、現在の「茨城県資源管理指針」は令和 2 年 12 月に改正施行された新漁業法において、令和 5 年度末までに県の作成する「資源管理方針」に基づき、漁業者が策定・実施する「資源管理協定」へと移行することが定められ、当海区においても自主管理措置等の取組を包括した資源管理協定の策定、移行を行うことで、資源管理型漁業のより一層の推進が期待される。

資源管理体制のイメージ図



〔資源管理の取組〕

(1) 漁業者による自主的な取組

いさざ・ごろひき網漁業では、ワカサギやシラウオの稚魚混獲を防止するため、ゴールデンウィーク期間中の操業を自粛（自主休漁期間の設定）したほか、トロール漁の解禁前 1 ヶ月は操業を限定するといった取組が実施された。わかさぎ・しらうおひき網漁業においても、テナガエビ漁の終漁日を設定するなど、自主的な資源管理を実施した（表 9）。

(2) 漁業者部会の設立

平成 22 年 6 月に、関係漁協は漁業者間の合意形成による操業調整等を行う漁協内部組織として、わかさぎ・しらうおひき網漁業を対象とする「漁業者部会（トロール部会）」を設立した。同部会では、7 月から 12 月の漁期中に月 1 回程度会合が開かれ、操業時間等の自主管理措置について協議が行われている。また、平成 23 年 6 月には、霞ヶ浦地区において張網やさし網などの定置型漁業を対象とした定置部会も設立された（北浦地区では両部会を合同組織としている）（表 10）。

表9 令和3年度の自主的な取組

事 項	地区	目 的	内 容	開始年	
いさざ・ごろひき網漁業（横ひき）の自主規制	霞ヶ浦地区	ワカサギ・シラウオ稚魚の保護	GW中（4/29 から 5/8 までの 10 日間）の自主休漁（稚魚の混獲防止） ※うなぎはえ縄漁の餌料確保のための操業は除く	H10年	
			3/1 から 7/20 までの間、操業時間を日の出から午前 10 時までに短縮	H28年	
わかさぎ・しらうおひき網漁業（トロール）の自主規制	霞ヶ浦地区	テナガエビ資源の保護	解禁日の設定	試験操業結果をもとに、9/13よりトロールによるエビ漁を開始（テナガエビ漁解禁日の設定）	H22年
			操業自粛区域の設定	（R2年度・R3年度未実施） H27～R1年度は 11 月上旬頃から終漁までの操業自粛区域設定	H27年
			終漁日の設定	11/10 をもってトロールによるエビ漁を終了（テナガエビ漁終漁日の設定）	

表10 漁業者部会の設立状況

	霞ヶ浦地区	北浦地区
構成漁協	霞ヶ浦漁協、麻生漁協	きたうら広域漁協、潮来漁協、常陸川漁協
部会名（対象漁業）	・霞ヶ浦地区トロール部会（トロール漁業）【平成 22 年 6 月設立】 ※横ひき漁業についても同部会で協議することを決定【平成 23 年 6 月】 ・定置部会（張網漁業、さし網漁業、つけ漁業、その他自由漁業）【平成 23 年 6 月設立】	・北浦地区トロール部会（トロール漁業）【平成 22 年 6 月設立】 ※横ひき漁業、定置型漁業については、必要に応じ合同で部会を開催することを決定【平成 23 年 7 月】

(3) 漁業者による自主的な漁業管理

【これまでに制定された自主規制等】 [] 内は制定日

- いさざ・ごろひき網漁業漁業管理協定 [霞：H21.1.8、北：H21.1.19]
- わかさぎ・しらうおひき網漁業自主管理協定 [霞：H22.6.18、北：H22.6.18]
- しらうおさし網漁業漁業管理規約 [霞：H21.7.24 他、北：H21.7.27 他]
- 雑魚さし網漁業漁業管理協定 [霞：H21.12.8、北：H21.12.8]
- つけ漁業漁業管理協定 [霞：H22.3.1、北：H22.3.1]
- 張網漁業漁業管理規約 [霞：H22.7.13、北：H22.7.12] ※許可漁業
- ワカサギ等資源活用事業のための年末トロール試験操業実施計画書
[霞北：H23.11、H24.11]

(4) その他の取組

① 資源の積極的増殖措置

ワカサギ資源の維持・増大を図るため、漁業者がワカサギ産卵親魚を採捕し、採卵から、受精・放流までを行っている。なお、平成 30 年度から手搾り(搾出法)に加え、水槽内自然産卵法による採卵を実施している。

② 調査研究

県水産試験場内水面支場を中心に、ワカサギの資源動向調査や漁場環境調査を実施するとともに、効果的な資源管理方策の研究が行われている。



ワカサギ人工ふ化放流事業 (採卵作業(左図)とシュロ枠に付着させた受精卵(右図))



霞ヶ浦地区トロール部会の様子

5 漁業制度

霞ヶ浦北浦は、漁業法に基づく海区指定を受け、海面と同じ漁業制度がとられている。
なお、主要漁業の年間操業期間及び漁獲対象種の時期は、表 11 のとおり。

(1) 漁業権漁業（表 12）

漁業権とは、都道府県知事の免許を受け、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利であり、「共同漁業権」、「区画漁業権」及び「定置漁業権」の 3 種類があるが、霞ヶ浦北浦では「共同漁業権」及び「区画漁業権」が免許されている。

霞ヶ浦北浦における漁業権は、湖岸帯沿いの雑魚張網漁業を内容とする第 2 種共同漁業権が 18 件（免許期間 10 年）、コイ等の網いけす養殖業を内容とする第 1 種区画漁業権が 14 件（免許期間 5 年）、真珠養殖業を内容とする第 1 種区画漁業権が 4 件（免許期間 10 年）となっている。

(2) 知事許可漁業（表 13）

知事許可漁業は、各都道府県が定める漁業調整規則によって許可する漁業である。霞ヶ浦北浦では、小型機船底びき網漁業 336 件、さし網漁業 277 件、つけ漁業 65 件、建網漁業 23 件、計 701 件が許可されている。

なお、令和 2 年 12 月における茨城県霞ヶ浦北浦海区漁業調整規則の改正により、許可の有効期間は 3 年から 5 年に変更となった。このため、規則改正後に許可の有効期間満了を迎えたいさざ・ごろひき網漁業、しらうおさし網漁業、雑魚さし網漁業及びつけ漁業では、許可の有効期間が 5 年となっている（令和 4 年 3 月 31 日現在）。

(3) 自由漁業（表 14）

自由漁業とは、漁業者が営むことのできる漁業権漁業及び許可漁業以外の漁業のことである。霞ヶ浦北浦では漁業協同組合の承認制がとられており、うなぎ漁（はえ縄、筒、せん等）や船舶からの投網漁など 401 件が操業されている。

(4) 保護水面、禁止区域

水産資源の保護培養を目的として、一切の水産動植物の採捕を禁止している「保護水面」（霞ヶ浦 2ヶ所、北浦 2ヶ所）及び「禁止区域」（霞ヶ浦 7ヶ所、北浦 2ヶ所）が設定されている（「11.資料(霞ヶ浦北浦海区の漁場図)」参照）。



霞ヶ浦・北浦での操業風景
(左：わかさぎ・しらうおひき網漁業、右：いさざ・ごろひき網漁業)

表 11 霞ヶ浦北浦における主要漁業の操業期間及び魚種別漁獲時期

漁業別操業期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
いさざ・ごろひき網漁業 (横ひき網)	1/20 →		← 3/1									
わかさぎ・しらうおひき網 漁業 (トロール網)							7/21 ←					12/31 →
雑魚さし網 (掛網)	1/1 ←											12/31 →
しらうおさし網 (しらうお建網)		2月末日 →		← 4/1	5/15 →						← 11/1	
ます網 (張網漁業)	1/20 →		← 3/1									
つけ漁業	1/1 ←											12/31 →
魚種別漁獲時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ワカサギ								←				→
シラウオ		→		←	→			←				
エビ類												
小・中エビ									←	→		
大エビ							←	→				
ザザエビ									←	→		
ハゼ類 (ゴロ)					←	→		←				→
イサザアミ				←	→							
フナ・コイ		→								←		

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 12 霞ヶ浦北浦における漁業権の現況 (令和4年3月31日現在)

種別	免許件数	漁業の種類	免許満了年月日 (免許期間)	主な漁獲種 (養殖種)
第2種共同漁業権	18件	大型雑魚張網漁業 (行使件数: 584件以内) 小型雑魚張網漁業 (行使件数: 1,367件以内)	R5.8.31 (10年)	エビ類、ハゼ類(ゴロ)、 ワカサギ、 フナ、コイ
第1種区画漁業権	14件	小割式養殖業 (行使数: 1,885面以内)	R6.8.31 (5年)	(コイ、フナ等)
	4件	真珠養殖業	R5.8.31 (10年)	(淡水真珠)

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 13 霞ヶ浦北浦における知事許可漁業の現況（令和4年3月31日現在）

漁業の名称	漁業種類	許可件数	許可満了年月日
小型機船 底びき網漁業	手操第1種漁業（いさぎ・ごろひき網漁業）	74件	R8.2.28
	手操第3種漁業（しじみかき漁業、まんぐわ漁業）	※1	
	打瀬漁業（帆びき網漁業）	※2	
	その他の小型機船底びき網漁業（わかさぎ・しらうおひき網漁業）	262件	R4.7.20
機船船びき網 漁業	こい・ふな機船船びき網漁業（小大徳網漁業）	-	
	その他の機船船びき網漁業（小天徳網漁業）	-	
さし網漁業	雑魚さし網漁業（掛網漁業）	184件	R8.12.31
	しらうおさし網漁業（しらうお建網漁業）	93件	R8.8.31
建網漁業	ます網漁業（張網漁業）	23件	R4.7.27
つけ漁業	おだ漁業	14件	R9.3.24
	笹浸漁業	38件	
	その他つけ漁業	13件	
合計		701件	

※1：しじみかき漁業及びまんぐわ漁業については資源状況の悪化により休止

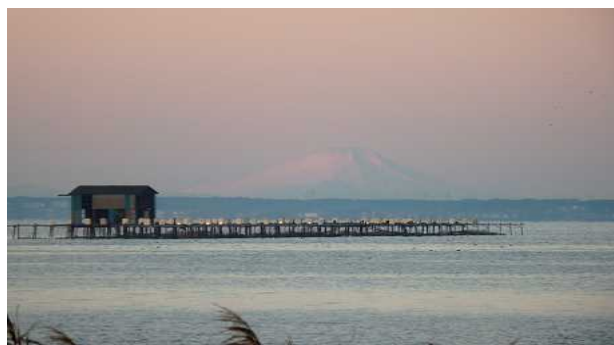
※2：帆びき網漁業については、特別採捕許可（伝統漁法の継承及び観光）により9隻が操業
（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

表 14 霞ヶ浦北浦における自由漁業の現況（令和4年3月31日現在）

漁業の名称	霞ヶ浦地区計	北浦地区計	霞ヶ浦北浦合計
ふなせん	2件	6件	8件
こいせん	8件	-	8件
えびせん	2件	4件	6件
うなぎ（せん、筒、竹、竹筒）	156件	62件	218件
はえなわ	77件	35件	112件
投網	25件	20件	45件
どじょう網	4件	-	4件
つくし	-	-	-
こずまき	-	-	-
合計	274件	127件	401件

※各地区における承認数（漁協聞き取り）

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）



霞ヶ浦・北浦での操業風景（左：張網漁業、右：小割式養殖業<網いけす養殖業>）

6 水産物流通加工

(1) 水産物の流通

霞ヶ浦北浦では、ワカサギ、シラウオ、エビ類、ハゼ類（ゴロ）などの小型魚介類が主として漁獲され、その大部分が加工原料として利用されてきた。当地区には産地市場が存在しないことから、多くの漁業者は、地元の水産加工業者に直接水揚げを行っているが、近年では漁業者自らによる自家加工や、消費地市場への出荷なども一部で行われるようになり、流通形態の多様化が進んでいる。

また、水産加工業者も、安定供給などの販売先から求められる強いニーズに応えるため、漁獲量が不安定な地元原料に加え、他県産や外国産原料を導入することにより、経営安定化を図る原料調達システムが定着している。

令和3年の加工原料となる原魚の調達量は全体で1,534トンで、前年の1,421トンに比べ約113トン（8%）増加した。調達先別にみると、県内産のものが455トンで、前年に比べ66トン減少した。

移入原料については、県外産が304トンで、前年に比べ47トン増加した。外国産は774トンで、前年に比べ131トン増加した。

他県産と外国産をあわせた移入原料の使用量は、平成20年までは3,000トン台を維持しており、平成21年から平成30年までは2,000トン前後で推移していたが、令和2年は900トン、令和3年は1,078トンと減少している（表15-1、表15-2、表15-3）。

(2) 水産加工業者並びに加工製品の流通

霞ヶ浦北浦で水産加工が始められたのは江戸時代末期であるとされ、当時は煮干の製造が主流であったといわれている。また、現在の代表的な水産加工品である佃煮については、明治の初めに東京から製法が導入され、当地域で盛んに製造されるようになったと伝えられている。

水産加工品はその後も、当地域の加工業者の手によって使用原料の選定や加工方法の開発、改良が進められ、当地域の特産物としての地位を確立し、現在に至っている。

当地域には水産加工業協同組合5団体と同連合会1団体が存在したが、平成17年8月1日に合併し、1つの水産加工業協同組合となっている。

令和4年3月時点における組合員数は46経営体となっており、近年の経営体数は転業や廃業により漸減傾向にある。

令和3年の従事者数別の事業所数をみると、5人以下の経営体が25経営体で組合員の過半数を占める状態となっている（図7）。総従事者数は264人で、このうち常時雇用者数は213人、臨時雇用者数は51人であった（表16-1、表16-2）。

当地域における水産加工業経営の動向をみると、自ら加工した製品を自己店舗により販売する業者のほか、加工よりも販売を重点的に行っている業者や、大量に原料を確保して加工を行い各地に向けて出荷している業者など、事業形態が多様化、分業化している。

当地域における加工生産量は、平成5年をピークに数量及び金額ともに減少し、平成13年以降は数量で約4,000トン、金額で35億円程度で推移していた。しかし、平成23年には、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響を受け、加工販売量・額が大幅に減少し、その後もやや減少傾向にある。

◆加工販売量

令和 3 年の水産加工品の総販売量は 1,054 トンで、前年に比べて 218 トン(17%)減少した。種類別にみると、佃煮類が最も多く 805 トンで前年に比べて 82 トン減少、次いで煮干し類が 117 トンで、前年に比べて 45 トン減少した。続いて、冷凍品 53 トン、焼き物 50 トン、うなぎ加工品 23 トンとなっている(図 8、表 17-1、表 17-2)。

◆加工販売額

令和 3 年の総販売額は 1,503 百万円で、前年に比べて 194 百万円 (11%) 減少した。種類別にみると、佃煮類が最も多く 1,082 百万円で、前年より 15 百万円減少した。次いで煮干し類が 224 百万円で、前年に比べて 120 百万円減少しており、続いて焼き物類 97 百万円、うなぎ加工品 86 百万円、冷凍品 9 百万円であった(表 17-1、表 17-2)。

◆買取販売

買取販売は他の水産加工業者が製造した製品を仕入れて販売するもので、加工販売の集計は製造者が販売者に出荷する段階で行うことになるので、重複を防ぐために加工販売とは別に集計した。

販売量を種類別にみると、佃煮類が 56 トン、煮干し類 24 トンで、冷凍品(主に輸入品)が 160 トンとなっている。販売額を種類別にみると、煮干し類 21 百万円、佃煮類 84 百万円、冷凍品(主に輸入品)が 5 百万円となっている(表 18)。

水産加工業者及び加工組合は、水揚げされる魚種の変化や多様化する消費者ニーズに対応した様々な新製品の開発を行うとともに、各地で行われている催事への出品や県内外の量販店等における PR 活動などを行い、消費の拡大に努めている。また、水産加工品の特産品としての銘柄化を図るため、当地域の多くの水産加工品が茨城県水産物開発普及協会が主催している水産加工優良推奨品の認定を受けており(令和 3 年 11 月現在 55 件、認定から 5 年間有効)、「茨城をたべよう」を合言葉に銘柄化を推進している。

(3) 生鮮魚、養殖魚の流通

霞ヶ浦北浦の漁獲物は加工品の他に鮮魚としても流通しており、ワカサギ、シラウオ、エビ類等が市場に出荷されている。また、平成 12 年から続いてきたシラウオの加熱表示に関する自主規制が見直され、平成 26 年より加熱表示なしでの出荷が再開された。

令和 3 年の活魚・鮮魚の総販売量は 254 トンで、前年に比べて 2 トン減少した。総販売額は 244 百万円で、前年に比べて 12 百万円増加した(表 19-1、表 19-2)。

霞ヶ浦北浦の養殖魚種としては、コイやフナなどがあり、生産量の大部分が県内外に活魚で出荷されている。なお、養殖コイは食用として、養殖フナは放流用や食用としての出荷である。

また、養殖コイについて、川魚問屋の廃業や活魚を扱える料理人が少なくなっていることなどから、活魚出荷ではなく一次加工したうえで出荷しようとする取組が一部の養殖業者の間で行われている。

◆水産物流通加工に関するデータについての留意事項

- ・ 調査対象：霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合の令和 4 年 3 月時点の組合員 46 経営体
- ・ 集計経営体数：35 経営体
- ・ 調査対象期間：令和 3 年 1 月 1 日から令和 3 年 12 月 31 日まで
- ・ 焼き物類は取引の慣習に合わせ「串」単位で調査し、下記の基準により重量換算した。

(基準) すずめ焼 50 串 = 1 kg 焼わかさぎ 30 串 = 1 kg
鬼がら焼 90 串 = 1 kg その他の串焼 50 串 = 1 kg

※ 平成 14 年まではすべて 100 串 = 1 kg で換算

表 15-1 令和3年魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	79.5	33.0	461.8	494.8	574.3	86.2%
しらうお	166.7	0.0	20.0	20.0	186.7	10.7%
ごろ(はぜ類)	3.2	0.0	6.0	6.0	9.2	65.2%
あみ	61.6	130.5	0.0	130.5	192.1	67.9%
えび	60.1	0.8	260.5	261.3	321.4	81.3%
ふな	0.7	0.0	5.0	5.0	5.7	87.7%
うなぎ	13.6	9.2	0.0	9.2	22.8	40.4%
その他	69.7	130.8	20.8	151.6	221.3	68.5%
合計	455.1	304.3	774.1	1,078.4	1,533.5	70.3%
令和2年実績	520.7	257.1	643.0	900.1	1,420.8	63.4%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 15-2 令和2年魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	99.3	22.0	472.0	494.0	593.3	83.3%
しらうお	209.5	0.0	20.0	20.0	229.5	8.7%
ごろ(はぜ類)	3.3	0.0	4.5	4.5	7.8	57.7%
あみ	32.3	106.5	30.0	136.5	168.8	80.9%
えび	143.9	0.0	100.5	100.5	244.4	41.1%
ふな	1.6	0.0	12.0	12.0	13.6	88.2%
うなぎ	9.8	8.4	0.0	8.4	18.2	46.2%
その他	21.0	120.2	4.0	124.2	145.2	85.5%
合計	520.7	257.1	643.0	900.1	1,420.8	63.4%
令和元年実績	603.6	357.3	976.8	1,334.1	1,937.7	68.8%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

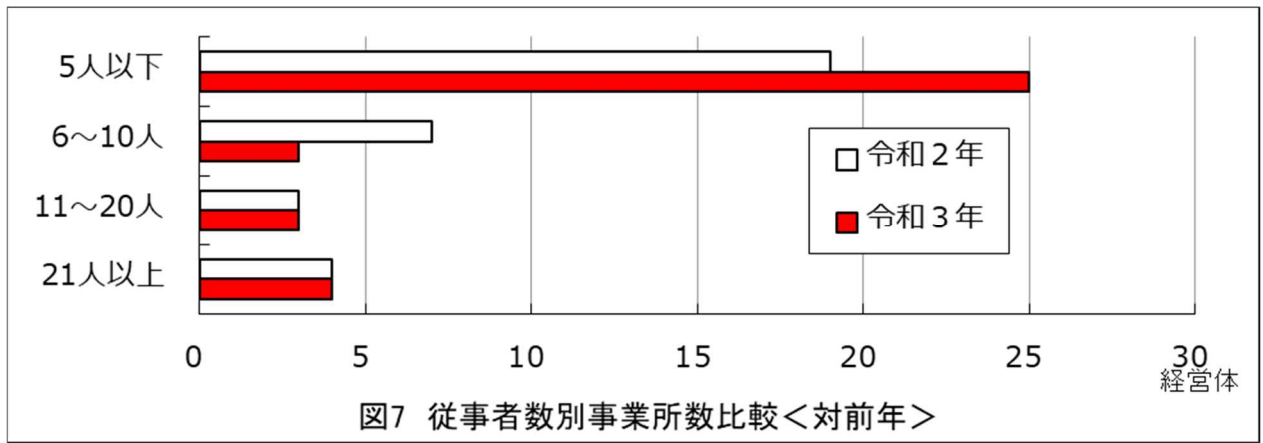
表 15-3 移入原料の推移

(単位：トン)

魚種	年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	わかさぎ		1,128	679	715	1,116	1,170	1,216	1,195	915	762	494
しらうお		63	83	30	30	37	37	30	30	30	20	20
ごろ(はぜ類)		67	62	49	38	33	11	10	6	7	5	6
あみ		257	202	194	349	245	192	177	183	193	137	131
えび		235	327	270	270	249	241	253	258	166	101	261
ふな		27	19	16	26	12	14	15	14	15	12	5
うなぎ		27	27	18	25	30	28	29	29	31	8	9
その他		332	336	267	245	235	806	174	169	130	124	152
合計		2,135	1,734	1,560	2,098	2,011	2,545	1,884	1,604	1,334	900	1,078
* 全体比		77.3%	82.6%	78.2%	75.2%	75.5%	74.9%	78.6%	74.6%	68.8%	63.4%	70.3%

* 全体比は当該年における加工原料全体のうち、移入原料の占める割合を示している。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)



(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表16-1 令和3年加工業従事者の構成 (単位：人)

区分	常時雇用								臨時雇用		合計 (a+b+c+d)
	男子				女子				男子 (c)	女子 (d)	
	~39 歳	40~ 59 歳	60~ 歳	小計 (a)	~39 歳	40~ 59 歳	60~ 歳	小計 (b)			
土 浦	1	5	4	10	0	1	2	3	1	1	15
かすみがうら	7	22	12	41	2	35	33	70	7	22	140
霞ヶ浦	2	8	9	19	9	19	14	42	3	5	69
湖 南	0	1	0	1	0	0	4	4	2	5	12
北 浦	2	2	3	7	1	5	10	16	3	2	28
合 計	12	38	28	78	12	60	63	135	16	35	264

(注) ・常時雇用：1年以上の期間にわたり継続して雇用される者。家族を含み経営者を除く。

・臨時雇用：継続して雇用される期間が1年未満の者、又は日々雇用される者。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表16-2 加工業従事者数の推移 (単位：人)

区分		年										
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
常時	男子	96	103	94	85	80	89	94	86	96	74	78
	女子	205	210	193	219	195	181	171	169	146	138	135
	小計	301	313	287	304	275	270	265	255	242	212	213
臨時	男子	18	32	17	21	16	14	11	14	16	12	16
	女子	27	10	19	32	35	25	32	44	32	37	35
	小計	45	42	36	53	51	39	43	58	48	49	51
合計	男子計	114	135	111	106	96	103	105	100	112	86	94
	女子計	232	220	212	251	230	206	203	213	178	175	170
	合計	346	355	323	357	326	309	308	313	290	261	264

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

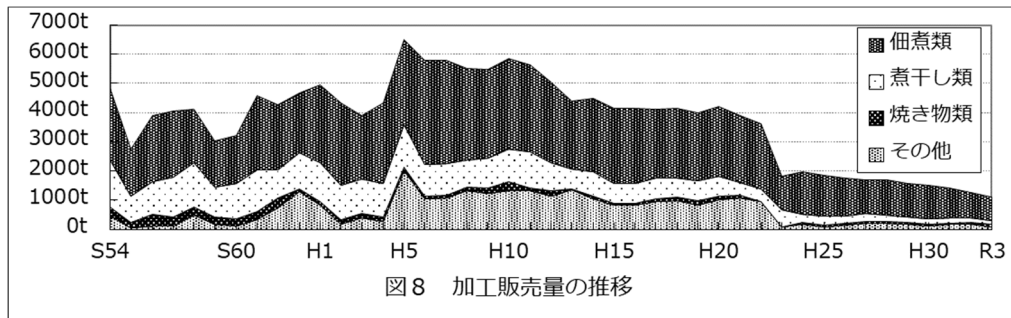


図8 加工販売量の推移

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表17-1 加工販売量・販売額の推移

(単位：上段 トン，下段 千円)

種類	年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額	数量 金額
わかさぎ煮干	数量	38.8	54.3	59.0	54.5	42.8	26.1	42.1	38.5	35.6	23.9
	金額	95,805	114,630	126,314	107,187	106,353	82,792	112,057	107,635	112,972	67,263
しらうお煮干	数量	38.8	52.3	38.5	54.3	32.3	76.1	75.6	65.6	56.5	46.9
	金額	111,937	155,159	100,957	128,782	95,004	301,055	300,701	237,521	196,563	137,073
あみ煮干	数量	40.0	31.0	0.9	22.0	25.5	6.0	7.1	28.0	19.5	21.5
	金額	13,500	7,750	236	5,900	15,550	1,440	2,633	9,113	3,850	4,250
えび煮干	数量	150.8	167.8	137.4	145.0	84.7	77.0	75.0	47.7	46.9	21.4
	金額	104,839	99,847	87,434	98,338	51,416	43,992	37,040	27,585	27,149	11,610
その他の煮干	数量	10.5	5.1	5.0	5.1	5.3	4.3	4.3	4.0	3.2	3.2
	金額	9,500	5,150	5,000	5,100	5,100	4,100	4,198	4,100	3,100	4,000
煮干計	数量	278.9	310.5	240.8	280.9	190.6	189.5	204.1	183.8	161.7	116.9
	金額	335,581	382,536	319,941	345,307	273,423	433,379	456,629	385,954	343,634	224,196
わかさぎ佃煮	数量	277.1	275.5	234.5	262.9	294.6	282.9	345.2	302.2	310.6	280.1
	金額	361,388	376,345	342,010	376,281	397,932	389,079	486,157	486,157	430,479	424,609
しらうお佃煮	数量	29.1	29.0	20.9	25.0	56.8	62.6	59.1	59.0	82.3	92.2
	金額	46,240	59,343	46,309	56,658	94,668	131,908	126,084	108,711	113,545	144,770
はげ佃煮	数量	26.7	35.9	34.0	24.1	26.4	21.5	15.9	10.8	6.4	4.5
	金額	33,028	46,552	46,978	31,308	39,281	31,770	25,230	10,800	7,490	5,990
あみ佃煮	数量	227.5	266.1	220.7	186.3	141.8	144.3	150.4	155.5	124.6	141.6
	金額	143,750	162,488	149,776	124,270	100,906	103,125	109,276	114,188	95,682	120,057
えび佃煮	数量	144.2	169.6	156.4	120.4	178.7	182.3	182.3	173.5	134.3	74.4
	金額	115,336	155,916	151,706	123,538	173,335	175,256	169,676	162,828	127,795	86,520
ふな佃煮	数量	14.2	14.6	14.4	15.3	8.6	9.6	10.0	9.8	9.3	6.8
	金額	17,550	17,286	20,800	22,090	13,730	12,201	17,754	17,175	11,891	9,500
その他の佃煮	数量	723.1	616.5	615.5	497.3	518.5	469.5	388.5	292.0	219.5	205.5
	金額	120,980	666,400	717,977	482,734	609,949	507,330	455,225	401,800	309,973	290,300
佃煮計	数量	1,441.9	1,407.1	1,296.4	1,131.3	1,225.4	1,172.7	1,151.4	1,002.7	887.0	805.1
	金額	838,272	1,484,330	1,475,556	1,216,879	1,429,801	1,350,669	1,389,402	1,301,659	1,096,855	1,081,746
すずめ焼き	数量	2.7	1.2	1.8	0.7	0.7	1.2	0.5	0.5	0.4	0.4
	金額	2,770	2,450	3,200	1,350	750	2,850	1,100	1,100	950	950
焼わかさぎ	数量	48.1	44.2	49.8	35.4	43.5	43.0	32.6	30.7	37.9	34.2
	金額	79,145	58,425	60,925	48,550	54,330	54,350	44,222	41,350	40,646	38,374
鬼がら焼	数量	26.8	23.7	22.1	21.4	22.3	18.4	13.8	15.5	14.1	15.6
	金額	99,710	75,410	79,510	72,485	76,650	74,050	62,288	60,308	58,115	57,750
その他焼物	数量	1.0	1.1	2.4	2.4	0.0	0.2	12.0	0.0	0.0	0.0
	金額	2,000	2,250	6,000	12,000	0	800	5,100	0	0	0
焼物計	数量	78.6	70.3	76.1	59.9	66.5	62.8	58.9	46.7	52.4	50.2
	金額	183,625	138,535	149,635	134,385	131,730	132,050	112,710	102,758	99,711	97,074
うなぎ加工品	数量	25.4	22.7	27.0	26.2	18.0	28.8	28.2	27.5	16.7	22.5
	金額	129,935	155,225	139,020	185,035	112,781	186,087	202,011	139,950	52,700	86,075
冷凍品	数量	-	27.0	95.8	170.6	119.3	59.0	60.5	79.0	107.0	53.2
	金額	-	35,885	13,744	78,363	133,826	29,500	32,843	74,500	75,100	9,000
その他	数量	137.8	21.5	21.2	21.0	80.3	73.1	13.1	68.1	47.2	5.9
	金額	90,630	19,150	19,032	18,765	52,569	37,956	9,156	40,156	29,040	4,720
その他計	数量	163.2	71.2	144.0	217.8	217.6	160.9	101.8	174.6	170.9	81.6
	金額	220,565	210,260	171,796	282,163	299,176	253,543	244,010	254,606	156,840	99,795
合計	数量	1,962.6	1,859.1	1,757.3	1,689.9	1,700.0	1,585.9	1,516.2	1,407.7	1,272.0	1,053.8
	金額	1,578,043	2,215,660	2,116,928	1,978,734	2,134,130	2,169,641	2,202,751	2,044,977	1,697,040	1,502,811

(注) 1 釜揚げは煮干しの中に、甘露煮は佃煮の中に含む。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

2 わかさぎ筏焼は焼きわかさぎの中に含む。

3 冷凍品は平成24年以前はその他に含む。

表17-2 令和3年加工販売量・販売額

(単位：上段 トン, 下段 千円)

種 類	支 部 名	土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率
		わかさぎ煮干	数量	0.0	15.9	4.3	1.2	2.5
	金額	0	50,550	9,920	3,653	3,140	67,263	4.4%
しらうお煮干	数量	0.0	30.1	4.9	3.1	8.8	46.9	4.2%
	金額	0	98,706	9,570	9,297	19,500	137,073	9.0%
あみ煮干	数量	0.0	16.5	0.0	0.0	5.0	21.5	1.9%
	金額	0	3,250	0	0	1,000	4,250	0.3%
えび煮干	数量	0.0	15.8	3.8	1.0	0.8	21.4	1.9%
	金額	0	7,660	1,950	1,200	800	11,610	0.8%
その他の煮干	数量	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.3%
	金額	0	4,000	0	0	0	4,000	0.3%
煮 干 計	数量	0.0	81.5	13.0	5.3	17.1	116.9	10.6%
	金額	0	164,166	21,440	14,150	24,440	224,196	14.6%
わかさぎ佃煮	数量	1.0	239.0	30.4	2.5	7.1	280.1	25.3%
	金額	7,200	339,960	57,680	6,669	13,100	424,609	27.7%
しらうお佃煮	数量	0.0	87.0	2.6	0.6	2.0	92.2	8.3%
	金額	0	132,650	5,320	2,000	4,800	144,770	9.5%
はげ佃煮	数量	0.0	3.6	0.2	0.2	0.5	4.5	0.4%
	金額	0	4,530	440	320	700	5,990	0.4%
あみ佃煮	数量	0.5	130.2	6.2	0.2	4.5	141.6	12.8%
	金額	2,000	106,820	5,290	347	5,600	120,057	7.8%
えび佃煮	数量	1.2	59.3	12.0	0.9	1.0	74.4	6.7%
	金額	6,000	60,280	17,100	1,740	1,400	86,520	5.7%
ふな佃煮	数量	0.0	3.0	1.7	0.1	2.0	6.8	0.6%
	金額	0	3,600	2,750	350	2,800	9,500	0.6%
その他の佃煮	数量	0.2	101.0	100.0	0.3	4.0	205.5	18.5%
	金額	1,200	133,000	150,000	900	5,200	290,300	19.0%
佃 煮 計	数量	2.9	623.1	153.1	4.8	21.1	805.1	72.7%
	金額	16,400	780,840	238,580	12,326	33,600	1,081,746	70.7%
すずめ焼き	数量	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0%
	金額	0	950	0	0	0	950	0.1%
焼わかさぎ	数量	0.0	23.7	0.5	0.0	10.0	34.2	3.1%
	金額	180	33,520	750	0	3,924	38,374	2.5%
鬼がら焼	数量	0.0	11.6	0.2	0.0	3.9	15.7	1.4%
	金額	0	54,000	750	0	3,000	57,750	3.8%
その他焼物	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	54.0	54.0	4.9%
	金額	0	0	0	0	27,540	27,540	1.8%
焼 物 計	数量	0.0	35.7	0.7	0.0	67.9	104.3	9.4%
	金額	180	88,470	1,500	0	34,464	124,614	8.1%
うなぎ加工品	数量	8.2	0.0	13.0	0.8	0.5	22.5	2.0%
	金額	10,400	0	68,050	7,200	425	86,075	5.6%
冷 凍 品	数量	0.0	48.0	1.0	2.2	2.0	53.2	4.8%
	金額	0	4,000	500	3,200	1,300	9,000	0.6%
そ の 他	数量	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.5%
	金額	0	0	4,720	0	0	4,720	0.3%
そ の 他 計	数量	8.2	48.0	19.9	3.0	2.5	81.6	7.4%
	金額	10,400	4,000	73,270	10,400	1,725	99,795	6.5%
合 計	数量	11.1	788.3	186.7	13.1	108.6	1,107.9	100.0%
	金額	26,980	1,037,476	334,790	36,876	94,229	1,530,351	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 18 令和3年買取販売量・販売額

(単位：上段 トン, 下段 千円)

種 類	支 部 名	土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
わかさぎ煮干	数量	1.3	1.0		0.0	1.4	3.7	1.5%
	金額	2,298	2,300		0	3,866	8,464	7.7%
しらうお煮干	数量	0.7	0.0	0.6	0.0	0.5	1.8	0.7%
	金額	974	0	1,200	0	1,100	3,274	3.0%
あみ煮干	数量	0.0	10.0	2.0	0.5	0.0	12.5	5.0%
	金額	0	2,500	800	400	0	3,700	3.4%
えび煮干	数量	1.0	1.0	1.0	0.0	2.2	5.2	2.1%
	金額	600	950	400	0	1,915	3,865	3.5%
その他の煮干	数量	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.4%
	金額	0	0	1,500	0	0	1,500	1.4%
煮 干 計	数量	3.1	12.0	4.6	0.5	4.0	24.2	9.7%
	金額	3,872	5,750	3,900	400	6,881	20,803	19.0%
わかさぎ佃煮	数量	1.1	0.0	0.1	0.0	0.3	1.5	0.6%
	金額	1,040	0	190	0	1,140	2,370	2.2%
しらうお佃煮	数量	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2%
	金額	630	0	22	0	0	652	0.6%
はげ佃煮	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
あみ佃煮	数量	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3%
	金額	240	0	25	0	0	265	0.2%
えび佃煮	数量	0.7	0.0	0.6	0.0	1.3	2.5	1.0%
	金額	510	0	584	0	2,540	3,634	3.3%
ふな佃煮	数量	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.4%
	金額	0	1,900	0	0	0	1,900	1.7%
その他の佃煮	数量	0.0	0.0	50.0	0.0	0.1	50.1	20.0%
	金額	0	0	75,000	0	83	75,083	68.4%
佃 煮 計	数量	2.8	1.0	50.7	0.0	1.7	56.1	22.4%
	金額	2,420	1,900	75,821	0	3,763	83,904	76.4%
すずめ焼き	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
焼わかさぎ	数量	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0%
	金額	42	0	10	0	0	52	0.0%
鬼がら焼	数量	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	4.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他焼物	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
焼 物 計	数量	0.1	0.0	10.0	0.0	0.0	10.1	4.0%
	金額	42	0	10	0	0	52	0.0%
うなぎ加工品	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
冷 凍 品	数量	0.0	160.0	0.0	0.0	0.0	160.0	63.9%
	金額	0	5,000	0	0	0	5,000	4.6%
そ の 他	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
そ の 他 計	数量	0.0	160.0	0.0	0.0	0.0	160.0	63.9%
	金額	0	5,000	0	0	0	5,000	4.6%
合 計	数量	5.9	173.0	65.3	0.5	5.7	250.4	100.0%
	金額	6,334	12,650	79,731	400	10,644	109,759	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表19-1 魚種別活魚・鮮魚販売実績の推移 (単位：上段 トン, 下段 千円)

支部名 魚種		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
わかさぎ	数量	190.9	123.8	58.7	63.5	104.3	101.1	91.9
	金額	122,148	86,954	58,833	55,963	68,562	73,550	70,650
しらうお	数量	76.0	74.4	79.9	79.4	87.1	127.6	130.1
	金額	87,671	65,387	67,381	70,513	84,761	111,750	118,450
えび	数量	3.1	10.8	27.0	26.8	15.5	7.1	3.6
	金額	2,034	8,940	9,180	9,112	7,975	3,840	2,621
ふな	数量	1.5	2.6	3.5	2.5	0.8	3.0	1.5
	金額	600	1,560	6,000	1,750	60	600	350
どじょう	数量	4.5	3.5	2.5	2.7	3.2	1.5	2.2
	金額	8,000	6,000	4,600	5,025	3,150	3,255	3,000
こい	数量	8.7	18.0	4.0	3.0	7.4	8.1	10.0
	金額	4,809	11,700	28,000	2,100	3,310	3,800	4,900
うなぎ	数量	8.0	25.4	8.5	4.5	6.8	7.1	14.7
	金額	10,400	126,715	73,168	30,334	31,235	35,287	44,267
あゆ	数量	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
アメリカナマス	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
その他	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
合計	数量	292.6	261.5	184.1	182.4	225.1	255.5	254.0
	金額	235,662	307,256	247,162	174,797	199,053	232,082	244,238

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表19-2 令和3年 魚種別活魚・鮮魚販売実績 (単位：上段 トン, 下段 千円)

支部名 魚種		土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率 (%)
わかさぎ	数量	0.0	33.4	55.0	3.5	0.0	91.9	36.2%
	金額	0	28,100	38,350	4,200	0	70,650	28.9%
しらうお	数量	0.0	47.1	63.0	19.5	0.5	130.1	51.2%
	金額	0	38,300	56,300	23,100	750	118,450	48.5%
えび	数量	0.0	0.5	2.4	0.7	0.0	3.6	1.4%
	金額	0	1,000	1,320	301	0	2,621	1.1%
ふな	数量	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	0.6%
	金額	0	0	350	0	0	350	0.1%
どじょう	数量	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	0.9%
	金額	0	0	3,000	0	0	3,000	1.2%
こい	数量	0.0	0.0	3.0	0.0	7.0	10.0	3.9%
	金額	0	0	700	0	4,200	4,900	2.0%
うなぎ	数量	2.5	4.4	7.3	0.5	0.0	14.7	5.8%
	金額	0	11,267	28,000	5,000	0	44,267	18.1%
あゆ	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
アメリカナマス	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	数量	2.5	85.4	134.4	24.2	7.5	254.0	100.0%
	金額	0	78,667	128,020	32,601	4,950	244,238	100.0%
令和2年実績	数量	0.0	83.3	149.8	17.4	5.0	255.5	-
	金額	0	68,667	138,350	22,065	3,000	232,082	-

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

7 漁船と漁港・船溜

(1) 漁船

霞ヶ浦北浦における令和3年12月31日現在の漁船登録隻数は、583隻であり、すべてが動力漁船となっている（表20）。

動力漁船のトン数階層別構成は、1トン未満が214隻（36.7%）、1～3トン未満が342隻（58.7%）、3～5トン未満が26隻（4.5%）、5トン以上が1隻（0.1%）となっており、大半が3トン未満船である。

また、動力漁船の船質については、561隻（96.2%）がFRP船であり、残り20隻（3.5%）が木船、2隻（0.3%）が軽合金船である。

表20 霞ヶ浦北浦のトン数階層別漁船隻数 (単位：隻)

年 トン数	H29	H30	R元	R2	R3
1トン未満	289	257	240	224	214
1～3トン未満	415	389	369	358	342
3～5トン未満	25	28	28	28	26
5トン以上	0	1	1	1	1
合計	729	675	638	611	583

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

(2) 漁港・港湾・船溜

霞ヶ浦北浦には、第1種漁港が霞ヶ浦に10箇所、北浦(外浪逆浦及び湖沼を連絡する水路を含む)に1箇所、合計11箇所ある。そのほか、港湾が2箇所と船溜が150箇所整備されている（表21）。

表21 漁港、港湾、船溜の概要 (単位：箇所)

	漁港	港湾	船溜
霞ヶ浦	10	1	80
北浦	1	1	70
合計	11	2	150

(霞ヶ浦北浦水産事務所,(独)水資源機構資料)



出漁を待つ漁船

8 水産業団体及び組合員

(1) 組合員

霞ヶ浦北浦地域における漁業協同組合の組合員数は、令和 4 年 3 月 31 日現在で霞ヶ浦地区が 509 人、北浦地区が 237 人の計 746 人となっている（表 22）。

漁業形態は小型機船底びき網等の漁船漁業が中心となっている。また、業種別では小割式養殖漁業協同組合があり、組合員数は 31 人である。

これら漁業者の大多数は小規模経営で、多くは農業や他産業との兼業であり、全体的に高齢化が進むとともに漁業者数は年々減少しており、漁業経営の安定化、新規参入者の確保が今後の課題となっている。

また、水産加工業協同組合の組合員数は令和 4 年 3 月 31 日現在で 46 人であり、一部の組合員は漁業との兼業を行っている。

(2) 水産業協同組合

①概況

昭和 24 年の水産業協同組合法施行に伴い、霞ヶ浦に 27、北浦に 14 の地区漁業協同組合（以下「地区漁協」という。）が設立された。その後漁協合併が進められ、令和 4 年 3 月 31 日現在における地区漁協は霞ヶ浦地区が 2 組合、北浦地区が 2 組合となっている。このうち、霞ヶ浦の 1 組合、北浦の 1 組合は、市町村域を超える広域合併により誕生したものである。

この他に、業種別漁業協同組合（以下「業種別漁協」という。）が 1 組合、水産加工業協同組合（以下「水産加工協」という。）が 1 組合ある。業種別漁協はこれまで 2 組合が存在したが、そのうち真珠養殖漁業協同組合が平成 21 年 1 月に解散し、小割式養殖漁業協同組合のみとなった。また、水産加工協は平成 17 年 8 月 1 日に 5 加工協と 1 加工連が合併して 1 つになったものである。

なお、霞ヶ浦地区において地区漁協の指導的役割を果たしてきた霞ヶ浦漁業協同組合連合会は、平成 22 年 7 月 22 日付けの認可及び登記により霞ヶ浦漁業協同組合がその権利義務を包括承継することになった。

表 22 水産業協同組合の推移（令和 4 年 3 月 31 日時点）

		組 合 数					組 合 員 数 (人)				
		H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3
単 協	霞ヶ浦地区漁協	2	2	2	2	2	672	622	573	538	509
	北浦地区漁協	2	2	2	2	2	285	275	252	242	237
	業種別漁協	1	1	1	1	1	35	38	38	32	31
	水産加工協	1	1	1	1	1	52	51	50	46	46
	計	6	6	6	6	6	1,044	986	913	858	823

(霞ヶ浦北浦水産事務所資)

②事業状況

霞ヶ浦北浦の各漁業協同組合は、一般的な海面のような産地市場が存在しないことから、漁業調整関係や資源管理関係などの指導事業を主に実施している。近年では、これまでの法令規制主導型の漁業制度から、自主規制を主体とした漁業者自身による「自主的な漁業管理体制」の構築のための中心的存在としての重要な役割を果たしている。

水産加工業協同組合は、霞ヶ浦北浦湖岸に所在する水産加工業者間の連絡・調整及び情報交換等を行うとともに、県内外のイベント等に参加・出店して展示即売会を行うなど霞ヶ浦北浦水産加工製品のPR並びに消費拡大に努めている。

③漁協合併

霞ヶ浦及び北浦地区においては、平成元年から1市町村1漁協を目標として、合併計画が進められてきたが、平成8年12月に全漁連が1県1漁協の方針を打ち出した。水産庁の主導のもと、本県においては、沿海、霞ヶ浦、北浦の各地区で漁協一本化を行うため、平成10年3月に「茨城県漁協経営強化基本方針」を、平成14年3月には「茨城県漁協組織・事業基盤強化基本方針」を策定した。

これらの基本方針を受けて、霞ヶ浦及び北浦地区では平成18年度を目標に両地区の漁連が主体となり、広域合併に向けた作業を進めた結果、北浦地区においては平成13年12月に北浦漁連と6漁協（麻生町大和、北浦村、銚田町、大洋、大野北浦、鹿島）による合併が基本合意に至り、平成14年6月1日に「きたうら広域漁業協同組合」が設立された。

一方、霞ヶ浦地区においても、霞ヶ浦漁連傘下の15漁協が合併の協議を進めてきた結果、麻生漁業協同組合以外の14漁協が合併に合意し、平成21年9月の合併仮契約締結と各組合の総会議決の後、平成22年1月15日付けの認可及び22日の登記を経て「霞ヶ浦漁業協同組合」が設立された。

同漁協の合併に先だって麻生漁業協同組合が霞ヶ浦漁連を脱退し、会員が1つになったことで同漁連の権利義務を合併漁協が包括承継できる条件が整ったため、両者の総会議決を経て平成22年7月22日付けの認可及び登記により承継が成立した。

なお、平成23年から霞ヶ浦漁業協同組合ときたうら広域漁業協同組合の役員を中心に、これまでの考え方にとらわれず霞ヶ浦と北浦の枠を超えた合併の必要性を指摘する声があがり、平成24年2月に両漁協の役員が会合して「第1回霞ヶ浦北浦地区漁協合併勉強会」が開催された。また、平成26年3月には霞ヶ浦北浦地区4漁協の役員が集まり2回目の合併勉強会を開催した。

④加工協合併

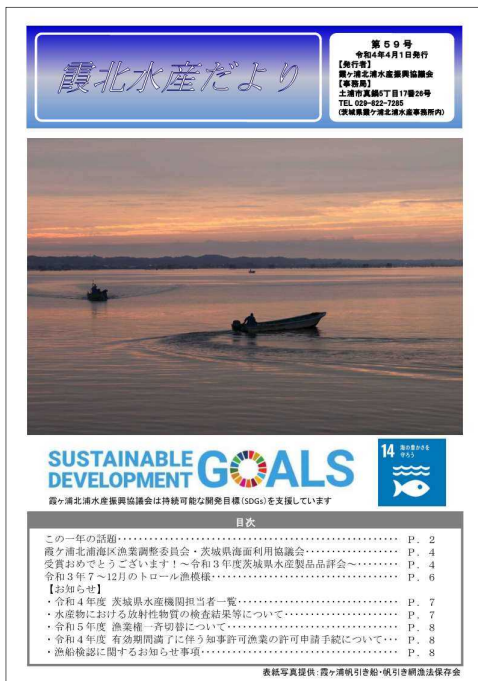
霞ヶ浦北浦地区には、昭和26年～45年に6加工協が設立された。その後、1組合が解散し、残りの5加工協が当初任意団体として組織した連合会が、昭和58年に水産業協同組合法に基づく水産加工業協同組合連合会となり、永らく活動してきた。その後、同連合会が中心となり、平成15年6月から進めていた5加工協(土浦、かすみがうら市、霞ヶ浦、霞ヶ浦湖南、北浦)の合併に向けた協議が合意に至り、平成17年8月1日付けの認可及び11日の登記により、「霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合」が設立された。この組合は、連合会の権利義務を承継した霞ヶ浦北浦地区唯一の加工組合となった。

(3) その他の団体

・霞ヶ浦北浦水産振興協議会

霞ヶ浦北浦沿岸市町村と漁協及び加工協等を会員とし、地元水産業団体と市町村の連携を円滑にして、霞ヶ浦北浦の水産業の振興を図るため次の各種事業活動を行っている。

- 啓発指導事業……………霞ヶ浦北浦の水産資源の保護育成や水産物の消費拡大のため必要な事業に対する経費の一部助成、同じく販売促進のための資材の作成など
- 教育広報事業……………機関誌「霞北水産だより」及び協議会ホームページ作成による水産に関する情報提供や、小学生などを主な対象とした啓発資料作成など
(HP : <http://www.kasumikita-sinkou.jp/index.html>)



味のマップ

※季節や天候により取扱いがない場合がございますので、事前にお店へのご確認をお願いします。

- 霞ヶ浦北浦の魚が食べられる店

下記のボタンをクリックして下さい。 ■ Google Mapから探す

わかさぎ

シララオ

コイ

その他

- 霞ヶ浦北浦の魚(加工品・鮮魚(生・冷凍)など)が買える店

下記のMAPをクリックして下さい。 ■ Google Mapから探す

9 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要

(1) 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会

海区漁業調整委員会は、漁業法及び地方自治法に基づき、農林水産大臣が定める「海区」ごとに設置され、その設置された海区内における漁業に関する事項を処理する行政委員会である。その権限及び機能は、漁業法や水産資源保護法、県漁業調整規則等に定められており、諮問機関、建議機関、決定機関等として広範な権限を有している。

霞ヶ浦北浦は漁業法に基づく海区指定を受け、昭和 25 年 8 月に霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会が設置された。委員選任方法は、第 22 期から公募による知事選任制に変更された。その構成は、漁業者委員 8 人、中立委員 2 人、学識経験委員 2 人の計 12 人で、任期は 4 年である。事務局は県土浦合同庁舎内に置かれ、職員 2 名が配置されている。

令和 3 年度の活動内容の主なものとして、しらうおさし網漁業、雑魚さし網漁業、つけ漁業について、許可等に関する取扱いを決定した。また、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言期間中に開催した第 540 回は、当海区で初めて Web 会議併用にて開催した。

表 23 各年度の漁業調整委員会の開催状況

	H29	H30	R1	R2	R3
委員会	7	9	6	6	7
公聴会	-	1	-	-	-
協議会	1	-	2	1	-
計	8	10	8	7	7

なお、落とし網漁業を委員会承認漁業とし、有効期間を令和 6 年 8 月 31 日までとする委員会指示を令和元年 6 月 26 日に発出した。

表 24 委員会指示の概要

承認漁業	承認面数(面)	承認者数(名)	有効期間
落とし網	120	22	令和元年 9 月 1 日から令和 6 年 8 月 31 日まで

第 22 期 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員(任期:令和 3 年 4 月 1 日~令和 7 年 3 月 31 日)

区分	氏名	所属
会長 漁業者委員	鈴木幸雄	漁業(霞ヶ浦漁協 代表理事組合長)
会長代理 漁業者委員	海老澤武美	漁業(きたうら広域漁協 代表理事組合長)
漁業者委員	大崎匠	漁業(霞ヶ浦漁協 理事)
中立委員	相崎守弘	元)茨城県霞ヶ浦環境科学センター長
漁業者委員	薄井征記	漁業((元)霞ヶ浦漁協 代表理事組合長)
中立委員	鈴木友子	(一社)茨城県観光物産協会 DMO推進監
漁業者委員	理崎茂男	漁業(霞ヶ浦北浦小割式養殖漁業協同組合 代表理事組合長)
学識経験委員	太田牧人	元)(公財)茨城県栽培漁業協会 専務理事
漁業者委員	中泉義美	漁業(霞ヶ浦漁協 理事)
漁業者委員	小原一八	漁業(きたうら広域漁協 副組合長)
学識経験委員	加納光樹	茨城大学地球・地域環境共創機構流域圏環境部門 准教授

令和 4 年 10 月 1 日現在

(2) 茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会

漁業と遊漁及び海洋性レクリエーションとの円滑な海面利用の調整を図るため、平成6年度に漁場利用審議会を発展的に改組し、新たに海面利用協議会を設置した。

本協議会には、海区別に部会が設置され、霞ヶ浦北浦海区には、霞ヶ浦北浦海区部会が設置されている。本部会は知事から委嘱された7人の委員（漁業関係委員2人、遊漁関係委員2人、海洋性レクリエーション関係委員1人、学識経験委員2人）で構成され、現在の委員は第14期に当たり、任期は2年である。

令和3年度の霞ヶ浦北浦海区部会は令和3年9月27日に開催し、霞ヶ浦北浦海区における漁業と遊漁の現状などについて協議を行った。

第14期 霞ヶ浦北浦海区部会委員（任期:令和3年8月1日～令和5年7月31日）

区 分	氏 名	備 考
学 識 経 験	桜 井 昭 司	部 会 長
遊 漁 関 係	吉 田 幸 二	部会長代理
遊 漁 関 係	赤 津 友 海	
学 識 経 験	代々城 貴彦	
漁 業 関 係	伊 藤 義 男	
漁 業 関 係	菅 谷 美 尚	
海洋性レク	高 野 利 夫	

令和4年10月1日現在



霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会の様子

10 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体

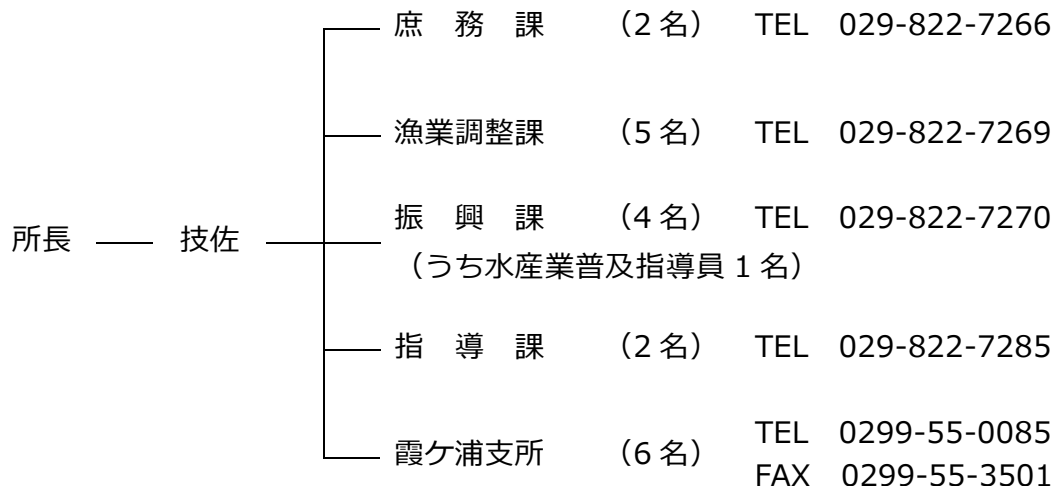
(1) 県の機関

①茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所（21名、うち水産業普及指導員1名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7266

FAX 029-822-0848



②霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会（委員12名）・・・・・・事務局（2名）

茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会（委員7名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7287

FAX 029-822-0848

(2) 住所録

令和4年10月1日現在

団体名	住所	電話番号		
		F	A	X
【霞ヶ浦地区 漁業協同組合】				
霞ヶ浦	311-3512 行方市玉造甲 1560-6	0299-55-0057	0299-55-0881	
麻生	311-3832 行方市麻生 163-1	0299-72-0416		(FAX 兼用)
【北浦地区 漁業協同組合】				
きたうら広域	311-3823 行方市白浜 1570	0299-73-3037	0299-73-3280	
潮来	311-2406 潮来市新宮 1942	0299-66-2711		(FAX 兼用)
常陸川	314-0114 神栖市日川 3744	0299-96-0903		(FAX 兼用)

団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X
【業種別 漁業協同組合】		
霞ヶ浦北浦 小割式養殖	311-3513 行方市手賀 786-3	0299-55-0289 0299-55-0244
【水産加工業協同組合】		
霞ヶ浦北浦	300-0134 かすみがうら市深谷 2964-7 かすみがうら市商工会 霞ヶ浦支所内	029-897-0055 029-897-0956
【霞ヶ浦北浦関係市町村】		
土 浦 市	300-8686 土浦市大和町 9-1	029-826-1111 029-823-9220
石 岡 市	315-0195 石岡市柿岡 5680-1 (八郷総合支所)	0299-43-1111 0299-43-6384
鹿 嶋 市	314-8655 鹿嶋市大字平井 1187-1	0299-82-2911 0299-84-1213
潮 来 市	311-2493 潮来市辻 626	0299-63-1111 0299-80-1100
稲 敷 市	300-0595 稲敷市犬塚 1570-1	029-892-2000 029-893-1554
かすみがうら市	300-0192 かすみがうら市大和田 562(霞ヶ浦庁舎)	029-886-3305 029-897-1243
小 美 玉 市	319-0192 小美玉市堅倉 835	0299-48-1111 0299-48-1199
鉾 田 市	311-1592 鉾田市鉾田 1444-1	0291-36-7651 0291-32-2128
神 栖 市	314-0408 神栖市波崎 6530 (波崎総合支所)	0479-44-1966 0479-44-5134
行 方 市	311-1792 行方市山田 2564-10 (北浦庁舎)	0291-35-2111 0291-35-2826
美 浦 村	300-0492 稲敷郡美浦村大字受領 1515	029-885-0340 029-885-4953
阿 見 町	300-0392 稲敷郡阿見町中央 1-1-1	029-888-1111 029-887-9560
【水産関連団体・漁業協同組合連合会】		
霞ヶ浦北浦 水産振興協議会	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎霞ヶ浦北浦水産事務所内	029-822-7285 029-822-0848
茨城沿海地区 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-224-5151 029-224-0070
東日本信用漁業協同 組合連合会 茨城支店	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-6281 029-226-4307
茨城県水産加工業 協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186
茨城県 水産物開発普及協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186

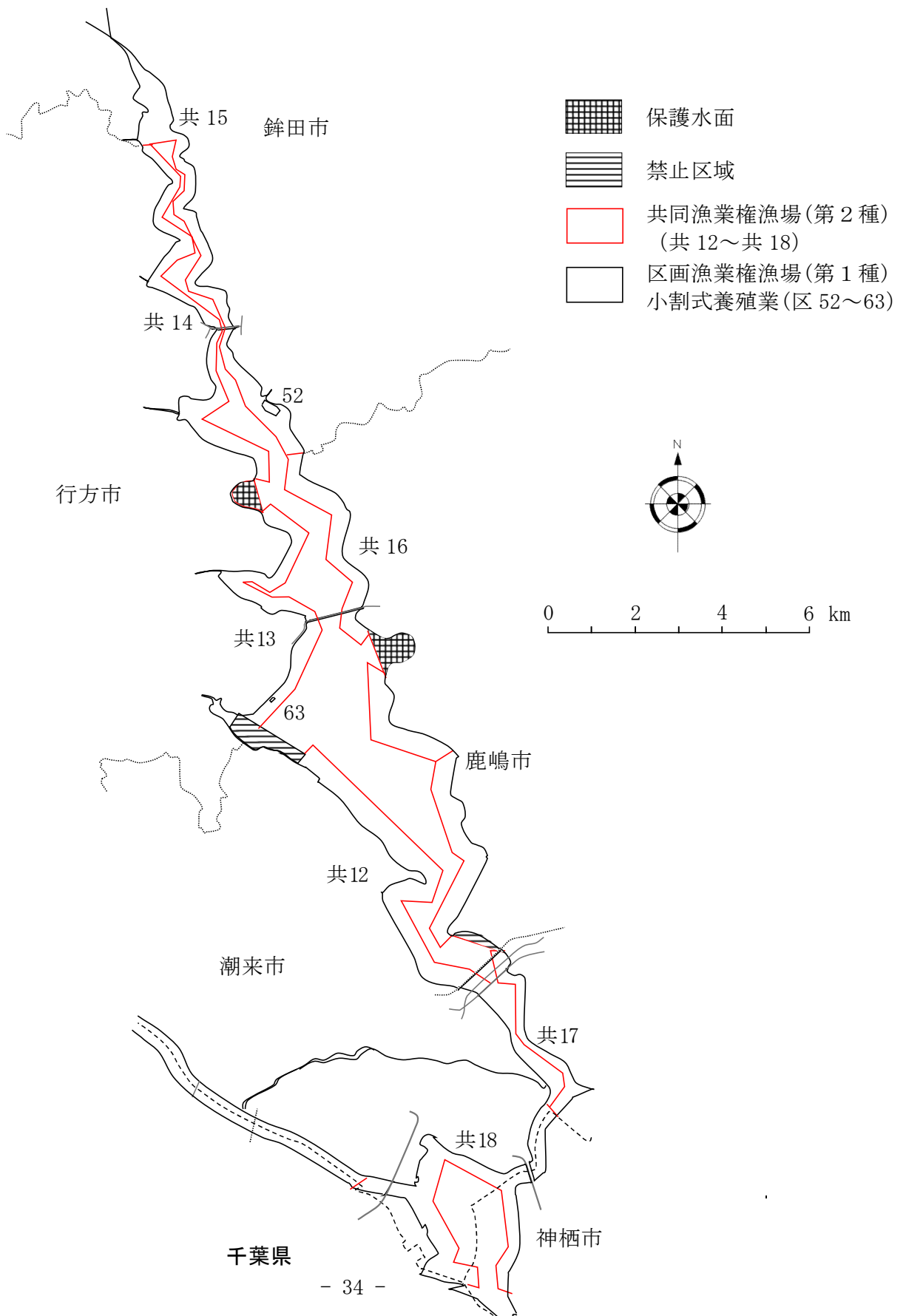
団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X
全国合同漁業共済組合 茨城県事務所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-1036 029-222-1031
全国共済水産業 協同組合連合会 関東東海事業本部 茨城支店	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-2036 029-231-7668
日本漁船保険組合 茨城県支所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-8526 029-231-9365
全国漁業信用基金協会 茨城支所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-0717 029-231-0342
【茨城県】		
漁 政 課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4066 029-301-4089
水産振興課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4114 029-301-4129
霞ヶ浦北浦 水産事務所	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26	029-822-7266 029-822-0848
霞ヶ浦支所	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0085 0299-55-3501
水産試験場	311-1203 ひたちなか市平磯町三ツ塚 3551-8	029-262-4158 029-263-2058
内水面支場	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0324 0299-55-1787
【国等関係機関】		
農林水産省関東農政局 茨城県拠点	310-0061 水戸市北見町 1-9	029-221-2184 029-225-6253
国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	311-2424 潮来市潮来 3510	0299-63-2411 0299-62-4652
波崎出張所	314-0254 神栖市太田 3109	0479-46-0101 0479-46-3161
土浦出張所	300-0822 土浦市蓮河原町 4497	029-821-2155 029-822-8510
銚田出張所	311-1517 銚田市銚田 1066	0291-32-3381 0291-33-5567
麻生出張所	311-3832 行方市麻生 1570-1	0299-72-1428 0299-72-0088
(独)水資源機構 利根川下流 総合管理所	300-0732 稲敷市上之島 3112	0299-79-3311 0299-79-3316

11 霞ヶ浦北浦海区の漁場図(霞ヶ浦)

(令和4年10月1日現在)



11 霞ヶ浦北浦海区の漁場図(北浦) (令和4年10月1日現在)



12 霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移①(S29～S63)

魚種別									単位：トン								
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ類	コイ	フナ	シジミ	イサザミ	年	総漁獲量	底びき網			掛網	張網	採貝
												トール	横ひき	帆ひき			
S29	7,187	1,514	321	411	203	200	471		1,400	S29	7,187		1,691	1,325	240	709	324
30	6,162	1,383	441	582	490	156	429		1,549	30	6,162		1,889	1,539	152	646	155
31	6,627	1,185	364	501	459	125	481		2,013	31	6,627		2,249	1,164	136	755	144
32	6,787	901	297	520	435	75	462		3,201	32	6,787		3,542	971	140	659	270
33	7,275	1,286	507	566	356	54	369	860	2,327	33	7,275		2,574	1,439	108	749	1,123
34	8,513	1,036	277	487	210	130	485	2,585	2,371	34	8,513		2,547	998	193	834	2,743
35	7,417	894	486	846	269	97	467	1,207	2,086	35	7,417		2,366	1,112	130	1,039	1,493
36	8,776	556	573	1,129	1,050	116	627	1,475	2,122	36	8,776		2,504	1,315	219	1,553	1,719
37	8,214	951	455	578	1,042	142	806	1,284	1,589	37	8,214		1,836	1,259	236	1,511	1,777
38	10,946	1,809	433	793	579	169	787	3,095	698	38	10,946		931	1,564	268	1,771	4,939
39	6,906	1,570	313	755	331	200	690	799	1,214	39	6,906		1,305	1,257	328	1,378	1,241
40	10,648	2,595	228	719	311	272	960	1,920	1,064	40	10,648		1,328	1,861	562	1,747	3,640
41	11,560	2,420	416	1,065	602	260	847	2,918	1,623	41	11,560		1,840	2,214	854	1,747	3,333
42	13,596	1,395	217	1,966	1,485	349	1,272	3,056	966	42	13,596		1,129	1,391	1,866	3,917	3,695
43	14,252	665	199	3,207	1,551	530	1,390	2,096	2,968	43	14,252	1,852	2,267	90	1,049	4,480	2,499
44	13,661	405	144	4,020	1,914	486	1,261	2,041	1,658	44	13,661	1,603	1,786	19	914	5,244	2,435
45	15,514	772	342	2,964	2,348	682	1,512	3,517	1,843	45	15,514	2,928	1,306	25	1,090	4,100	3,848
46	15,599	425	175	3,042	4,011	869	1,587	2,732	879	46	15,599	2,102	1,000	19	1,154	5,463	3,558
47	13,376	606	200	2,155	3,911	785	1,628	1,728	1,400	47	13,376	3,076	1,068	25	762	4,495	1,984
48	13,395	238	160	3,688	3,383	1,067	1,484	1,818	866	48	13,395	2,300	1,513	35	1,007	5,048	1,966
49	13,726	923	157	1,571	3,636	1,200	1,332	2,271	1,735	49	13,726	1,504	2,793	13	1,224	4,676	1,244
50	16,954	570	92	3,897	4,972	1,718	1,488	1,233	1,817	50	16,954	2,827	3,379	15	1,834	6,500	1,265
51	15,650	570	69	2,309	3,250	1,723	1,842	1,170	3,515	51	15,650	1,776	4,844	41	1,538	4,995	1,240
52	15,068	1,121	78	2,347	4,120	1,194	1,198	1,046	1,710	52	15,068	1,321	4,153	179	1,857	5,075	994
53	17,487	358	30	4,734	4,764	1,250	1,127	1,796	1,631	53	17,487	3,297	3,674	105	1,856	5,668	1,558
54	13,778	829	24	2,479	4,119	1,422	1,340	749	1,522	54	13,778	1,860	3,127	402	1,383	4,962	668
55	12,805	399	40	2,619	3,656	1,643	1,129	491	1,833	55	12,805	758	4,556	106	1,438	4,426	396
56	12,080	211	53	2,946	3,285	1,221	884	295	1,899	56	12,080	534	5,153	44	1,460	3,726	327
57	12,238	418	97	3,021	3,577	1,128	710	510	1,809	57	12,238	692	5,362	146	1,287	3,605	578
58	11,069	695	152	1,644	3,011	744	639	315	2,037	58	11,069	900	4,573	29	1,838	2,640	324
59	7,367	1,570	315	1,010	2,102	675	579	157	333	59	7,367	2,617	1,082	6	706	2,404	197
60	10,244	1,091	192	2,012	3,094	804	578	106	1,739	60	10,244	2,600	3,541		729	2,909	107
61	8,224	1,216	213	1,386	2,318	773	576	104	697	61	8,224	1,803	2,263		1,018	2,681	128
62	8,525	473	88	2,697	2,245	747	434	19	1,015	62	8,525	1,940	3,191		1,100	1,940	23
63	7,520	323	81	1,513	2,315	693	403	60	1,250	63	7,520	1,339	2,851		1,151	1,865	67

「茨城農林水産統計年報」

12 霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移②(H元～R2)

魚種別										漁業種類別									
単位：トン										単位：トン									
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ類	コイ	フナ	シジミ	イサザアミ	年	総漁獲量	底びき網			掛網	張網	採貝		
												トロール	横ひき	帆ひき					
H元	6,859	457	80	1,394	2,855	535	278	4	825	H元	6,859	2,088	2,104		591	1,860	4		
2	5,405	463	110	1,401	1,924	452	240	0	612	2	5,405	1,963	1,643		392	1,248	0		
3	5,821	530	184	929	2,242	490	223		1,036	3	5,821	2,255	1,999		425	989			
4	5,109	400	209	1,330	1,981	462	156		387	4	5,109	2,644	1,228		405	711			
5	5,214	420	178	978	1,886	492	152		974	5	5,214	1,817	2,196		400	683			
6	4,576	289	200	950	2,111	489	119		242	6	4,576	1,516	1,456		364	1,062			
7	4,422	237	244	714	2,003	496	126		416	7	4,422	1,695	1,408		375	895			
8	4,109	259	294	832	1,527	427	121		348	8	4,109	1,722	1,102		390	826			
9	4,263	352	345	594	1,636	306	133		534	9	4,263	1,925	1,275		441	562			
10	2,998	160	134	411	1,201	284	86		367	10	2,998	1,072	986		416	466			
11	2,969	70	119	315	1,404	253	72		210	11	2,969	1,206	826		370	521			
12	2,416	51	95	244	1,097	230	110		280	12	2,416	884	772		328	393			
13	2,063	65	268	140	724	241	109		114	13	2,063	869	365		446	290			
14	1,747	55	81	133	521	251	122		210	14	1,747	579	371		428	338			
15	1,422	106	130	120	331	116	90		168	15	1,422	512	303		289	295			
16	1,794	71	103	426	679	54	48		229	16	1,794	951	429		105	278			
17	2,061	186	79	371	518	119	66		184	17	2,061	703	444		232	267			
18	1,740	123	127	104	551	69	45		73	18	1,740	872	171		383	293			
19	2,591	227	165	152	603	66	49		※1	19	2,591	1,650 ※2			584	335			
20	2,068	134	190	76	491	62	40			20	2,068	1,232			497	286			
21	2,238	456	179	94	322	47	40			21	2,238	1,393			462	347			
22	2,218	520	83	55	497	29	35			22	2,218	1,293			547	355			
23	1,874	410	124	32	515	26	28			23	1,874	1,210			356	299			
24	646	227	116	9	276	0	3			24	646	631			8	5			
25	939	231	139	8	269	5	-			25	939	915			2	23			
26	860	242	124	8	246	5	-			26	860	847			0	13			
27	886	273	162	8	242	1	6			27	886	880			0	5			
28	882	117	159	9	241	-	2			28	882	873			1	5			
29	886	117	211	15	221	3	2			29	886	878			2	6			
30	849	98	176	10	253	2	3			30	849	839			2	7			
R元	729	119	161	2	133	2	3			R元	729	710				2	17		
2	670	73	187	1	87	2	3			2	670	618				2	51		

※1 平成19年からイサザアミはその他

※2 平成19年からトロール、横ひきは底びき網

「茨城農林水産統計年報」